

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

平成24年度9月5日(水) VI-1会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-121)

■8:40~10:10 山岳トンネル(1) / 座長:河野 伸征

- VI-001 ポリエステル系被膜養生剤の開発とトンネル覆工コンクリートへの適用/清水建設 (株) [正] 伊藤 健一・Phan Huu Duy Quoc・平野 宏幸・田中 博一・江渡 正満
- VI-002 覆工コンクリートにおける給水養生開始時期の品質に与える影響/ハザマ [正] 新居 秀一・白岩 誠史・林 俊奇・齋藤 淳
- VI-003 コンクリート養生技術「キューリングシール工法」の開発/佐藤工業 土木事業本部 技術部 [正] 瀬谷 正巳・歌川 紀之
- VI-004 覆工コンクリートの簡易で効果的な養生工法の開発/三井住友建設 [正] 中込 正貴・岩熊 真一・斯波 明宏・伊藤 洋・坂本 慶太
- VI-005 覆工セントル2基を使用した覆工コンクリートの高品質化/清水建設 [F] 今津 雅紀・土田 優・新居 直人・入江 正樹
- VI-006 覆工コンクリートのひび割れ抑制対策と実績/戸田建設 [正] 原 敏昭・鈴木 寿人・山火 智洋
- VI-007 避難連絡坑の覆工プレキャスト化/清水建設株式会社 [正] 坪井 勇人・金岡 幹・児玉 泰樹

■10:25~11:55 山岳トンネル(2) / 座長:木梨 秀雄

- VI-008 覆工コンクリート天端部の締固めに関する実験/間組 [正] 辰巳 順一
- VI-009 再生PETメッシュシートによるトンネル覆工コンクリートはく落防止工法の開発/清水建設 [正] 木内 勉・石田 駿介・西村 晋一・佐伯 徹・大久保 誠介
- VI-010 超音波を用いた覆工コンクリートの若材齢強度推定に関する検討/奥村組 [正] 塚本 耕治・廣中 哲也
- VI-011 マイスタークリート工法の開発/西松建設株式会社 [F] 佐藤 幸三・椎名 貴快・高橋 雅・金丸 信一
- VI-012 トンネル覆工コンクリートの仕上りにおける美観性(見栄え)の重みについて/岐阜工業株式会社 [正] 平岡 照規・掛樋 雅人・福川 雪久・小牟禮 宏樹・吉武 勇
- VI-013 AHPを用いたアンケートによるトンネル覆工コンクリートの美観性調査/岐阜工業株式会社 [正] 掛樋 雅人・平岡 照規・福川 雪久・小牟禮 宏樹・吉武 勇

■12:40~14:10 山岳トンネル(3) / 座長:横尾 敦

- VI-014 中流動覆工コンクリートにおける美観性の検討/飛鳥建設株式会社 [正] 瀧間 優作・堂園 淳一・種田 敬・平岡 昭信・小西 裕之
- VI-015 中流動覆工コンクリート打込み時の吸引ホースによる天端部充てん性確認実験/西松建設 [正] 椎名 貴快・佐藤 幸三・高橋 雅
- VI-016 中流動覆工コンクリート表層部における品質に関する検討/飛鳥建設 [正] 小西 裕之・堂園 淳一・桑田 誠・平岡 昭信・筒井 隆規
- VI-017 鉄筋構造における増粘剤系中流動覆工コンクリートの試験施工/飛鳥建設 [正] 濱西 将之・小川 渉・平岡 昭信・藤本 克郎・前田 和也
- VI-018 増粘剤成分含有高性能AE減水剤を用いた中流動コンクリートの在来トンネルへの適用/(株)鴻池組 土木技術部 [正] 若林 宏彰・花岡 茂樹・三浦 邦武・森山 祐三・為石 昌宏
- VI-019 高強度吹付けコンクリートと瞬結吹付けコンクリートの強度発現特性について/清水建設 [正] 中谷 篤史・土田 優・新居 直人・熊坂 博夫・中島 賢
- VI-020 石炭灰を用いた高強度吹付けコンクリートの施工性に関する検討/飛鳥建設 [正] 平岡 昭信・佐藤 正俊・松下 政史・富田 雅美・葛野 靖史

■14:25~15:55 山岳トンネル(4) / 座長:片山 政弘

- VI-021 超長尺鋼管先受け工(ELPS)による坑口部のトンネル安定対策/清水建設 紀勢線海山トンネル作業所 [正] 高岡 秀明・平野 宏幸・川上 博史・児玉 泰樹
- VI-022 PPP-BOTDA方式光ファイバ計測による超長尺先受け鋼管のひずり挙動/清水建設 地下空間統括部 [正] 淡路 勲太・福田 和寛・平野 宏幸・横山 光徳・松田 公彦
- VI-023 山岳トンネルにおける鉛直離隔5mの構造物に対する沈下対策/戸田建設 [正] 野村朋之・田中 誠・藤原 光雄・山崎 彰
- VI-024 鏡ボルト軸力計測とトンネル前方地山の地中変位計測による補助工法の効果確認/戸田建設 [正] 菅家 和明・大原 宏敬・西島 郁夫・島津 智史
- VI-025 切羽評価点に基づく補助工法選定システムにおけるSVM入力値の再検討/山口大学大学院理工学研究科 [学] 丸山 健太・進士 正人
- VI-026 新設トンネルの掘削工法選定に関する三次元弾性解析/ドービー建設工業 (株) [正] 石井 めぐみ・小室 雅人・岸 徳光・佐光 正和
- VI-027 粒子群最適化を用いたトンネル掘削問題の逆解析/西松建設土木設計部 [正] 岡井 宗彦・亀谷 英樹

平成24年度9月6日(木) VI-1会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-121)

■8:40~10:10 山岳トンネル(5) / 座長:青木 智幸

- VI-028 切羽発破を利用した切羽前方探査の試み/鴻池組 [正] 富澤 直樹・新庄 大作・若林 宏彰・長沼 諭
- VI-029 トンネル施工時の振動を利用した前方探査手法に関する室内試験/清水建設 [正] 若林 成樹・西 琢郎・中谷 篤史
- VI-030 トンネル切羽前方 高速ノンコアボーリングシステムの開発/大林組 [正] 斎藤 有佐・加藤 直樹・木梨 秀雄・高橋 佳孝・伊藤 哲
- VI-031 破砕帯を対象とした高品質ボーリングコアによる切羽前方探査と補助工法の選定/熊谷組 [正] 片山 政弘・松澤 大助・市道 彰・青木 宏一・松岡 洋平

VI-032 ノンコア削孔切羽前方探査技術を活用したトンネル掘削/株式会社 大林組 [正] 浜田 崇・葛屋 紀幸・桑原 徹・木梨 秀雄・畑 浩二

VI-033 坑口部断層破砕帯における前方探査を活用した地山補強工法/大林組 [正] 下村 哲雄・馬場 弘二・伊藤 邦彦・伊藤 哲・木梨 秀雄

VI-034 切羽形状が早期閉合トンネルの安定性に及ぼす影響/中日本高速道路㈱ [正] 佐藤 淳・細野 泰生・楠本 太

VI-035 切羽形状が早期閉合トンネルの変形挙動に及ぼす影響/中日本高速道路株式会社 [正] 中須 誠・佐藤 淳・楠本 太

■10:25~11:55 山岳トンネル(6) / 座長:岡野 法之

- VI-036 早期閉合トンネル周辺地山の挙動特性に関する考察/清水建設地下空間統括部 [正] 東 楽・佐藤 淳・楠本 太
- VI-037 DII地山における切羽の安定形状/清水建設 [正] 楠本 太・佐藤 淳・細野 泰生
- VI-038 強度不足地山の早期閉合トンネル安定性に関する考察/清水建設 [正] 木村 厚之・佐藤 淳・楠本 太
- VI-039 強度不足地山の早期閉合トンネル挙動特性に関する考察/清水建設関東支店 [正] 真下 義章・佐藤 淳・楠本 太
- VI-040 早期閉合で施工した超近接双設トンネルの一般部D1区間での双設影響(その1)/清水建設 北陸支店 [正] 高本 純也・矢野 一郎・稲垣 太浩・中堀 千嘉子・津野 康則
- VI-041 早期閉合で施工した超近接双設トンネルの坑口部DIII区間での双設影響(その2)/中日本高速道路敦賀工事事務所 [正] 稲垣 太浩・津野 ヤスノリ・崎野 成二・牛田 和仁・宮本 利典
- VI-042 三波川帯低強度地山の山岳トンネル掘削について/清水建設 [正] 野村 洋人・大嶋 健二・楠本 太・児玉 泰樹
- VI-043 押出し性地山における早期閉合双設トンネルの設計検証/清水建設 [正] 石川 俊明・大嶋 健二・楠本 太・児玉 泰樹

平成24年度9月7日(金) VI-1会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-121)

■8:40~10:10 山岳トンネル(7) / 座長:馬場 弘二

- VI-044 全断面早期閉合適用時の管理基準値に関する一考察/西松建設 [正] 大谷 達彦・角湯 克典・鬼頭 夏樹・明石 健
- VI-045 全断面早期閉合適用地山における施工管理基準の設定方法/(独)土木研究所 [正] 角湯 克典・森本 智
- VI-046 全断面早期閉合における初期変位速度の施工管理への活用/西松建設㈱ [正] 鬼頭 夏樹・角湯 克典・大谷 達彦・明石 健
- VI-047 計測結果見える化技術(OSV)の現場適用と課題に関する一考察/鴻池組 土木事業本部技術部 [正] 山田 浩幸・芳賀 博文・芥川 真一
- VI-048 光るロックボルト軸力計の開発/鹿島建設株式会社 [正] 山本 拓治・横田 泰宏・伊達 健介・羽馬 健一・芥川 真一
- VI-049 山岳トンネルにおける削孔角度誘導支援システムの開発/西松建設 [正] 石山 宏二・山下 雅之・柳沢 一俊・岡村 光政
- VI-050 山岳トンネルにおける三次元レーザースキャナの適用について/ハザマ [正] 湯本 健寛・河邊 信之・黒台 昌弘

■10:25~11:55 山岳トンネル(8) / 座長:下田 哲史

- VI-051 都市部河川直下におけるNATMによる接続トンネル施工/大林・新館建設共同企業体 [正] 柴田 勝夫・後藤 広治・五十嵐 央・磯島 磨・大浦 道哉
- VI-052 長距離・小断面TBMによるガス導管トンネルの施工実績-大阪ガス三重・滋賀ライン山岳トンネル工事-/戸田建設 [正] 堀 直・杉本 伊佐夫
- VI-053 高水位土石流下におけるトンネル施工/株式会社 鴻池組 土木事業本部 技術部技術課 [正] 長沼 諭・釘野 公寿・高田 幸延・田中 寿・富澤 直樹
- VI-054 横浜プリンスホテル跡地開発計画におけるエレベーターシャフトの施工/[正] 平口 未帆・笹西 孝行・石岡 賢治
- VI-055 極小土かぶり条件での民家との近接施工/大林組 [正] 小野 真史・中島 純也・河南 幸治・木梨 秀雄・高橋 佳孝
- VI-056 酸性土対策盛土の施工について/大林組 [正] 桑高 崇・和崎 宏一・林 圭一
- VI-057 地盤改良杭を利用した既設放水槽直下の立坑およびトンネル掘削施工/大成建設 [正] 下野 正人・佐藤 将路・小杉 勝之・栗田 道信・中谷 耕一

■15:00~16:30 山岳トンネル(9) / 座長:海瀬 忍

- VI-058 石灰石鉱山で試行した長孔発破とその振動測定結果/奥村組 [正] 蛭子 清二・塚本 耕治・岩本 容昭・田浦 義真
- VI-059 坑内における発破時の振動・低周波音計測について/フジタ建設本部 [正] 野間 達也・土屋 敏郎・谷川 学・田中 隆紹
- VI-060 発破掘削によるトンネル坑内の音圧分布の把握と音圧予測法の提案/山口大学大学院 [学] 楠木 寛也・石田 滋樹・進士 正人
- VI-061 アクティブノイズコントロールによる発破騒音低減の試み/ハザマ 土木事業本部 [正] 稲葉 秀雄・福田 雅司・田上 泰孝
- VI-062 音響管を用いた発破消音器の開発と現場適用事例/大林組 技術研究所 [正] 本田 泰大・諏訪 和彦・伊藤 哲・西野 俊論・松野 徹
- VI-063 トンネル坑内の粉じん低減工法「トラベルグリーンカーテン」の適用/大林組 [正] 荒川 晃士・諏訪 和彦・中村 亮・西本 卓生

平成24年度9月5日(水) VI-2会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-132)

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

■8:40~10:10 リニューアル(1) / 座長:坂井田 実

- VI-064 本州四国連絡橋の局部補修仕様及び近接手段の検討/JR四国連絡高速道路 [正] 大谷 康史・酒井 和吉・籠池 利弘
VI-065 鋼鉄道橋の塗替え塗装におけるケレン方法の検討/JR西日本 [正] 松本 英宜・中山 太士・坂本 達朗
VI-066 鋼鉄道下路トラス橋格点部の腐食状況調査と対策について/JR西日本 [正] 尾花 祥隆・竹内 敬視・佐々木 俊三・中山 太士
VI-067 鋼鉄道橋りょうのニープレス補修に関する一考察/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 富田 興昌・坂上 信一・市川 晃朗・海沼 誠司
VI-068 鉄道橋の下路鉸桁縦桁上フランジに発生した変状と対策/JR東日本 東京土木技術センター [正] 大上 貴寛・大井 晴男・橋 武志
VI-069 上路プレートガーダー下フランジ山形鋼疲労き裂の発生原因推定/西日本旅客鉄道 [正] 西田 寿生・木村 元哉・金 裕哲
VI-070 東海道新幹線下路トラス橋縦桁端部首尾接部変状の発生原因究明と対策検討/東海旅客鉄道 [正] 中越 正幸・所 真吾・井上 良博
VI-071 可動案内板密着調整ネジの破断原因に関する一考察/ゆりかもめ技術課 [正] 穴沢 秀昭・真鍋 和則・平井 和英

■10:25~11:55 リニューアル(2) / 座長:牧野 敏行

- VI-072 鋼単純桁連続区間における床版連結工法の適用-東関東自動車道 寒風高架橋における施工-/東日本高速道路株式会社 [正] 伊藤 淳之介・鈴木 裕二・東田 典雅・細矢 淳
VI-073 鋼単純桁連続区間における床版連結工法の適用/ネクスコ東日本 [正] 細矢 淳・鈴木 裕二・東田 典雅・伊藤 淳之介
VI-074 鉄道鋼トラス橋鋼床版における防水工について/JR東日本 取手工事区 [正] 黒川 聡・佐々木 昭悟・陣川 博朗・根本 晴透・笠原 薫
VI-075 高力ワナサイドボルト接触面が弛緩に与える影響/大鉄工業株式会社 [正] 山口 善彰・神薗 卓海・山田 不二彦・鈴木 博之
VI-076 強風環境における鋼鉄道橋の橋桁交換工事について/JR東日本 [正] 新田 昭彦・川邊 直樹・村田 祐亨
VI-077 既設高架橋における防風柵の新設について(その1)/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 長澤 徹・小林 義雄・土田 大輔・鈴木 博人
VI-078 既設高架橋における防風柵の新設について(その2)/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 植村 昌一・松戸 豊・花房 竜美・鈴木 博人・渡邊 浩一
VI-079 鉄道営業線における沓座無収縮モルタルの強度確認方法に関する一考察/大鉄工業 [正] 水町 実・岡田 幸久・山口 善彰・山田 不二彦

■12:40~14:10 リニューアル(3) / 座長:熊坂 徹也

- VI-080 既設橋の桁端漏水対策について/東日本高速道路 [正] 清水 尚志・鈴木 裕二・東田 典雅
VI-081 鋼桁・橋台・盛土の一体化補強工における養生期間中の列車振動がコンクリートの硬化性状に及ぼす影響/東急建設株式会社 [正] 前原 聡・横山 知昭・野中 隆博・神田 政幸・伊藤 正憲
VI-082 供用橋梁の橋台ジョイントレス化構造の検討/株式会社K&T こんさるたん [正] 肥田 研一・大谷 祥三・細矢 淳
VI-083 断面欠損がPC 鋼棒の引張強度に及ぼす影響の把握のための腐食促進実験/土木研究所 [正] 藤田 智弘・藪 雅行・小橋 秀俊
VI-084 水路橋の維持管理について/東日本旅客鉄道 [正] 笠原 隆祐・四宮 卓夫・伊部 秀之・村上 幸司
VI-085 まくらぎ抱込桁を用いた災害復旧/西日本旅客鉄道 [正] 河村 佳治・西口 修・木村 元哉・丹羽 雄一郎
VI-086 アルカリ骨材反応の影響で劣化したRC床版の耐荷性能について/パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 荒木 誠司・鈴木 剛・佐藤 喬
VI-087 自己治癒技術によるひび割れ補修試験施工の経過について/東日本旅客鉄道 [正] 嶋倉 ちづる・長谷 志保・品田 卓也・安 台浩

■14:25~15:55 リニューアル(4) / 座長:内藤 英樹

- VI-088 脱塩工法の陽極ユニット開発に関する基礎的研究について/オリエンタル白石 [正] 大谷 悟司・堀越 直樹・小林 俊秋・二井谷 教治
VI-089 透明なコンクリート表面保護工(スケルトン工法)の極薄化/パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 小沼 恵太郎・高木 弘敏・松岡 弘晃・佐藤 辰巳
VI-090 塩害で除去されたコンクリート桁を用いた非破壊試験について/大日本コンサルタンツ株式会社 [正] 本田 博幸・下里 哲弘・有住 康則・砂川 章次
VI-091 杭式構造物に適用するゴムスポンジとゴムチューブを用いた仮設ドライアップ工法の開発/東亜建設工業 [正] 木内 大介・羽瀧 貴士・宮沢 明良・宇野 貴司
VI-092 オゾンが及ぼすゴムへの影響/川金コアテック [正] 鶴野 禎史・菱山 知幸・久保 博
VI-093 簡易な機械工具を用いた素地調整方法に関する試験施工/中日本高速道路 [正] 河合 正則・高木 博行・酒井 修平
VI-094 中央分離帯に設置する鋼製剛性防護柵の構造検討(その2)/首都高速道路 [正] 小島 直之・高橋 邦博・井上 治郎
VI-095 1世紀以上使用されていた支承のリフレッシュ工事/日本鑄造 [正] 朝倉 康信・鈴木 淳司・上野 淳人・尾栢 茂

平成24年度9月6日(木) VI-2会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-132)

■8:40~10:10 リニューアル(5) / 座長:石原 克彦

- VI-096 東北地方太平洋沖地震における新幹線トンネルの被害と復旧/東日本旅客鉄道 [正] 松沼 政明・斎藤 貴
VI-097 地下トンネル区間における道床コンクリート変状と対策について/西日本旅客鉄道 [正] 佐藤 和久・三宅 篤・重富 康児・一條 健吾
VI-098 鉄道のレングトンネルにおける効率的な目地充填工法の開発/熊谷組 [正] 山田 一宏・安原 史喬・斎藤 孝志・高嶋 展浩・北村 栄治
VI-099 MM(みなとみらい)線シールド漏水止水工事施工報告/エステーキコウ [正] 中村 勝利・三堀 健一・斎藤 正幸
VI-100 地下拡幅工事における躯体接続部に関する実験的検討(その1)/鉄道総合技術研究所 [正] 牛田 貴士・仲山 貴司・津野 究・焼田 真司・福留 和人
VI-101 地下拡幅工事における躯体接続部に関する実験的検討(その2)/株式会社間組 [正] 福留 和人・牛田 貴士・仲山 貴司・津野 究・焼田 真司
VI-102 ダムの湛水により水位条件が変化した既設石積みカルバートの補強対策/日本工営 [正] 小谷 拓・堀 洋喜
VI-103 駅コンコースの土間コンクリート下の空洞対策について/JR東日本 東京土木技術センター [正] 小藤田 敦士・浜崎 直行

■10:25~11:55 リニューアル(6) / 座長:安藤 健司

- VI-104 海上部マスコングリート構造物の表面劣化と対策/本州四国連絡高速道路(株) [正] 坂本 佳也・楠原 栄樹
VI-105 中詰材の改良による既設防波堤ケーソンの補強メカニズムに関する実験的検討/港湾空港技術研究所 [正] 岩波 光保・丸端 雄一郎・松林 卓・安井 利彰・水谷 征治
VI-106 水路トンネルにおけるFRPシートの貼付の施工性向上対策/竹中土木 [正] 金子 みゆき・関 藤果・吉開 博幸
VI-107 可とう性止水工法の導入実験/NTTインフラネット㈱ [正] 佐藤 晋也・椎名 久男・栗原 和美
VI-108 道路トンネル視線誘導・監査廊補修タイルパネル工法について/㈱エアードエーマテリアル [正] 丸山 諭・森山 守・川原 和弘・岩谷 一郎
VI-109 供用後のトンネル変状リスクへの対策工の選定法について/深田地質研究所 [F] 亀村 勝美
VI-110 東京国際空港国際線エプロン維持管理における新技術の採用~超高強度鋼繊維補強コンクリート(UFC)の境界ブロックへの採用~/大成建設 [正] 天野 喜勝・土方 暉・神谷 誠・大塚 徳之・岡田 圭亮
VI-111 中詰材の改良厚さが既設防波堤ケーソンの耐衝撃補強効果に及ぼす影響/東洋建設 [正] 森田 浩史・松林 卓・岩波 光保

平成24年度9月7日(金) VI-2会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-132)

■8:40~10:10 リニューアル(7) / 座長:小林 大

- VI-112 飛散防止機能を有する柱・壁用ウォータージェット表面処理機の開発/奥村組 [正] 石井 敏之・森本 克秀・川西 健之
VI-113 鉄道トンネル剥落対策工における垂下対策と効率施工/東鉄工業 [正] 太刀川 卓
VI-114 新潟・福島豪雨による発電所放水水路の災害復旧/JR信濃川発電所 [正] 大森 友博・広岡 勉・四宮 卓夫・永井 佐門・根津 保広
VI-115 コスト比較による簡易ホーム改修時期及び改修方法の検討について/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 鈴木 博人・清水 磨・齋藤 吉和
VI-116 稼働中の工場基礎の補強工事(その1:3次元FEMによる基礎補強設計)/新日本製鐵 [正] 花田 賢師・大出 哲也・荒木 尚幸・川原井 裕子
VI-117 稼働中の工場基礎の補強工事(その2:掘削および遮水)/新日本製鐵 [正] 大出 哲也・花田 賢師・藤田 淳・平塚 正雄
VI-118 稼働中の工場基礎の補強工事(その3:基礎補強の施工)/清水建設 [正] 竹村 瑞元・花田 賢師・大出 哲也
VI-119 PC杭再利用のための杭頭補強方法/東日本旅客鉄道 [正] 阿部 紗希子・杉田 清隆・初貝 隆一

■10:25~11:55 リニューアル(8) / 座長:安藤 誠

- VI-120 香川県内市町が管理する橋梁の損傷状況に関する調査報告/香川高等専門学校 [学] 赤松 紋奈・森 由貴奈・齋藤 暖・太田 貞次
VI-121 行動観察手法を用いた点検業務の効率化/東京大学 [正] 二宮 利江・石川 雄章・市川 暢之・星 一郎・竹谷 昇二
VI-122 PC橋維持管理支援システム(J-BMS PC版)の開発と実橋への適用/山口大学大学院 [正] 清水 一史・浅野 寛元・勝島 龍郎・宮本 文穂
VI-123 データマイニング手法を用いた点検データの分析/東日本高速道路㈱ [正] 市川 暢之・石川 雄章・田中 克直・二宮 利江
VI-124 走行映像と車内音声および車両振動を用いた舗装路面簡易評価手法に関する研究/山口大学大学院理工学研究科 [学] 吉武 俊章・江本 久雄・宮本 文穂
VI-125 走行映像と車内音声および車両振動を用いた舗装路面簡易評価システムの開発/(有)ミツウ電器 [正] 江本 久雄・吉武 俊章・宮本 文穂
VI-126 ITを活用した合理的な事業マネジメントシステムに関する研究開発/東京大学大学院情報学環 [正] 田中 克直・石川 雄章

■15:00~16:30 アセットマネジメント(1) / 座長:貝戸 清之

- VI-127 タブレット端末を用いた橋梁の概略点検手法および入力システムの開発/長岡工業高等専門学校専攻科 [学] 赤原 健太・井林 康・陽田 修・田中 泰司

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-128 タブレット端末を用いた橋梁の点検データベースの構築と新潟県内におけるデータ分析/長岡工業高等専門学校 [学] 中島 健人・庭山 雄太郎・井林 康
- VI-129 橋梁の長寿命化検討の取り組み ～橋梁の劣化予測～/海洋架橋・橋梁調査会 [正] 桐原 進彰・小川 英明・永田 耕之・石川 堅一・山藤 俊広
- VI-130 橋梁マネジメントにおけるライフサイクルシミュレーションについての一考/パシフィックコンサルタンツ [正] 堀井 久義
- VI-131 3Dモデルを用いた橋梁維持管理手法の提案・試作・検証/西日本旅客鉄道 [正] 高橋 康将・坂本 保彦・中山 忠雅・内田 修・近藤 健一
- VI-132 進行性と冗長性を考慮した点検2次判定の標準化に向けた検討/阪神高速技術 [正] 杉本 義博・井口 祐樹・坂根 英樹・高村 義行・上中田 裕章
- VI-133 香川県内市町管理橋梁における劣化予測曲線および維持管理水準の提案/[学] 齊藤 暖・赤松 紋奈・太田 貞次
- VI-134 劣化予測における劣化状態のばらつきの評価/高知工科大学 社会マネジメントシステム研究センター [正] Bongochgetsakul Nattakorn・工藤 徹郎・那須 清吾

■16:45～18:15 アセットマネジメント(2) / 座長:井林 康

- VI-135 道路維持管理基準の変更に伴う影響とコスト削減対策—宇都宮国道事務所における取り組み事例をもとに—/国土交通省宇都宮国道事務所 [正] 小路 泰広・高橋 進・夏堀 渉
- VI-136 長期維持管理政策と整合的な中期点検・補修政策の立案手法/成和コンサルタント [正] 鶴田 知己・堀 倫裕
- VI-137 リスクマトリックスによる路線管理優先順位決定に関する検討/(株)高島テクノロジーセンター [F] 和久 昭正・桐野 浩充
- VI-138 港湾構造物の劣化速度のばらつきに関する一考察/港湾空港建設技術サービスセンター [正] 加藤 博敏・北里 新一郎
- VI-139 異質性を考慮した統計的劣化予測のトンネル照明灯具への適用/大阪大学 [学] 水谷 大二郎・貝戸 清之・平川 恵士
- VI-140 地下鉄トンネルの点検データを用いた経年劣化予測の試み/早稲田大学 [学] 前田 啓太・赤木 寛一・山本 努
- VI-141 ボットホールとひび割れの階層関係に着目した統計的劣化予測/大阪大学工学研究科 [学] 宮崎 文平・貝戸 清之・橋爪 謙治

平成24年度9月5日(水) VI-3会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-131)

■8:40～10:10 シールドトンネル(1) / 座長:滝本 邦彦

- VI-142 シールドマシンにおけるカッタービットの再利用技術の開発～概要および外観検査～/大成建設株式会社 [正] 高倉 克彦・森田 泰司・嘉屋 文隆・佐々木 誠・岩本 達也
- VI-143 シールドマシンにおけるビット再利用技術の開発～強度検査～/丸和技研 [正] 佐々木 誠・嘉屋 文隆・森田 泰司・高倉 克彦・岩本 達也
- VI-144 シールドマシンにおけるカッタービットの再利用技術の開発～非破壊検査～/有明工業高等専門学校 [正] 岩本 達也・嘉屋 文隆・佐々木 誠・高倉 克彦・森田 泰司
- VI-145 二重ビットの施工報告—御堂筋シールド到達調査—/ジャバントンネルシステムズ [正] 吉田 謙・森田 泰司・井櫻 潤示
- VI-146 チャンバー内土圧計測から掘削土の塑性流動性を評価する方法の検討(その3)/清水建設 [正] 渡邊 洋輔・杉山 博一・島 厚夫・安井 克豊・小瀧 伸也
- VI-147 チャンバー内土圧計測から掘削土の塑性流動性を評価する方法の検討(その4)/清水建設株式会社 [正] 小瀧 伸也・杉山 博一・島 厚夫・原 忠・渡邊 洋輔
- VI-148 環境影響の小さいシールドトンネル工事に用いる起泡剤の現場適用事例/株大林組 [正] 三浦 俊彦・千野 裕之・高井 竜太・高橋 寛・服部 鋭啓

■10:25～11:55 シールドトンネル(2) / 座長:石川 哲

- VI-149 開放型シールドを採用したURUP工法の地上発進における反力設備について/大林組 [正] 三倉 寛明・蛭子 延彦・前田 知就・河口 琢哉
- VI-150 河岸急斜面における狭隘な施工ヤードでのURUP 工法によるシールドU ターン施工/大林組 [正] 兼丸 隆裕・大井 和憲・久田 英貴・前田 知就
- VI-151 大断面長距離シールドトンネルにおける高速施工の実績/首都高速道路 [正] 近藤 竜平・湯田坂 幸彦・柴田 佳彦・梶川 初太郎
- VI-152 大断面シールドトンネルにおける合成セグメントの実績/首都高速道路 [正] 鈴木 裕介・近藤 竜平・柴田 佳彦・梶川 初太郎
- VI-153 品川線シールドトンネル8kmにおける測量精度向上への取り組み/大成建設 [正] 山本 永朗・後藤 広治・五十嵐 央・築取 優丞・足立 英明
- VI-154 都心部における急曲線・急勾配シールドの施工/清水建設 [正] 太田 明彦・花輪 高史・速見 亮・中村 智史
- VI-155 24.7%急勾配距離施工を含む岩盤を対象とした大深度泥水シールドの施工結果/西松建設 [正] 坪井 広美・千田 翔互
- VI-156 岩盤を対象とした大深度泥水シールド掘進時における地山性状の評価手法に関する検討/西松建設 [正] 山下 雅之・坪井 広美
- VI-157 大深度・硬質地盤におけるRCセグメントの応力計測/西松建設土木設計部 [正] 大江 都夫・中川 真吾

■12:40～14:10 シールドトンネル(3) / 座長:黒川 信子

- VI-158 軌道横断・小土被り条件下における泥土圧シールドによる地盤変位抑制/株式会社熊谷組 [正] 平石 富茂・森山 忠宏・石川 哲・熊谷 典嗣
- VI-159 営業鉄道線直下におけるシールド横断の施工結果/西松建設土木設計部設計課 [正] 小宮 隆之・荻田 佳樹・古田 賢司・宇田 好一郎

- VI-160 高速道路直下における小土被り矩形シールドトンネルの施工について/株式会社 大林組 [正] 日野 義嗣・志農 和啓・加藤 哲・村上 真也
- VI-161 矩形断面ダンプバス「R-SWING工法」の施工実績/鹿島建設 [正] 滝本 邦彦・諾橋 敏夫・野口 俊也・北川 豊・鶴田 浩一
- VI-162 複合曲線区間におけるDOT シールド工法による鉄道トンネル建設工事/清水建設株式会社 [正] 安井 克豊・西川 泰司・古村 貴男・金丸 清人
- VI-163 白子川地下調節池工事(その5)への合成セグメントの適用について(1)設計概要/大成建設株式会社土木設計部 [正] 織田 隆志・太田 誠・立澤 延泰・服部 佳文
- VI-164 白子川地下調節池工事(その5)への合成セグメントの適用について(2)実物大継手試験/大成建設 [正] 岸山 雄多佳・太田 誠・立澤 延泰・新井 昌一・麻 泰宏
- VI-165 白子側地下調節池工事(その5)への合成セグメントの適用について(3)実構造系載荷実験/大成建設株式会社 [正] 山本 亮太・太田 誠・立澤 延泰・土橋 功

■14:25～15:55 シールドトンネル(4) / 座長:山元 寛哲

- VI-166 鋼繊維補強鉄筋コンクリート(RSF)セグメントの実施工への適用/大成建設株式会社 [正] 加藤 隆平・山仲 俊一朗・小森 敏生・森田 誠
- VI-167 大深度・高水圧下のシールドトンネルへのRSFセグメントの適用/大成建設 [正] 近藤 智人・京屋 直正
- VI-168 新型合成セグメントの開発(平板単体曲げ試験)/清水建設 [正] 入田 健一郎・迫野 涼・関 伸司・吉武 謙二・後藤 徹
- VI-169 リング継手の補助部材(調芯ピン継手)の開発/清水建設 [正] 馬場崎 宗之助・入田 健一郎・吉武 謙二・杉山 博一・青木 孝憲
- VI-170 直線鋼矢板を用いた新型セグメント継手(SUGリップ)の開発/清水建設 [正] 鹿島 文之介・松本 秀樹・宮田 勝治
- VI-171 ゼンマイ式ナット自動締結型セグメント継手の開発/大成建設 [正] 西田 与志雄・織田 隆志・倉永 亮平
- VI-172 接合ビースを用いたRC躯体-鋼製セグメント接合構造の設計と施工/大成建設 [正] 日高 直俊・兜 俊彦・佐藤 賢一郎・大石 憲寛・山田 紀之
- VI-173 鉄道営業線における二次覆工リングビーム交換方法について/東鉄工業 [正] 館野 宣夫・平山 信夫・木下 和弘

平成24年度9月6日(木) VI-3会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-131)

■8:40～10:10 シールドトンネル(5) / 座長:安井 克豊

- VI-174 DSR工法による上下2層シールド駆動部(内胴部)の再利用/首都高速道路 [正] 中西 禎之・本山 康貴・岩堀 和馬
- VI-175 小土被り大断面シールドの施工実績について/間組 [正] 本山 康貴・中西 禎之・花島 常雄
- VI-176 鋼製ケーシング立坑での直接発進到達工法-DUCMM(デュコム)工法の概要と実施工/錢高組 [正] 竹中 計行・森 正嗣・久保田 隆行・久木田 将行
- VI-177 大断面シールドトンネルの中間立坑における切削可能部材の工事報告/鹿島建設 [正] 生川 寛之・新井 崇裕・藤原 勝也・糸久 智・林田 道弥
- VI-178 SENSで用いる一次覆工コンクリートの付着試験/鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 小川 淳・野口 守・三上 美輝雄・津野 究・粥川 幸司
- VI-179 SENSにおけるライニング挙動/(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 田中 淳寛・三上 美輝雄・神田 大・玉井 達毅・津野 究
- VI-180 SENSにおける地山変位挙動/地域 地盤 環境 研究所 東京事務所 [正] 水原 勝由・三上 美輝雄・田中 淳寛・神田 大・玉井 達毅
- VI-181 水中・封かん・浸水養生がコンクリートの品質に与える影響の評価/ハザマ [正] 林 俊彦・白岩 誠史・新居 秀一・齋藤 淳

■10:25～11:55 ダム / 座長:坂詰 俊介

- VI-182 デジタルカメラ画像を用いたロック材の粒度解析システム/鹿島建設 [正] 川野 健一・藤崎 勝利・黒沼 出・岡本 道孝・小林 弘明
- VI-183 打継面処理程度の定量化技術の開発/大成建設株式会社 [正] 片山 三郎・三上 達也・新井 博之・黒羽 陽一郎
- VI-184 若材齢RCDコンクリート上のダンプトラック走行がコンクリート品質に与える影響について/大成建設 [正] 原山 之克・三上 達也・武田 均・新井 博之
- VI-185 無線LANを利用した積算温度通知システムによる型枠脱型時期等の管理について/大成建設 [正] 黒羽 陽一郎・高橋 孝広・小堀 俊秀・新井 博之
- VI-186 近年のダム建設におけるカーテングラウチングの合理化内容の分析/土木研究所 [正] 佐藤 弘行・山口 嘉一
- VI-187 強制排水による細骨材表面水の低減効果に関する現場試験/大成建設(株) [正] 下茂 道人・古市 雄一・山口 嘉一・増岡 健太郎
- VI-188 細骨材表面水の強制排水過程に関する室内試験と数値解析/大成建設技術センター [正] 平塚 裕介・今野 浩二・山口 嘉一・山本 肇
- VI-189 気液二相流による細骨材表面水の排水シミュレーション/大成建設(株) [正] 増岡 健太郎・高橋 孝広・山口 嘉一・下茂 道人

平成24年度9月7日(金) VI-3会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-131)

■8:40～10:10 開削トンネル・地下構造物(1) / 座長:時弘 みどり

- VI-190 推進工事発生土を利用した流動化処理土の現場内製造および打設(その1:要求性能,施工方法)/奥村組 [正] 加藤 将道・川崎 英介・高島 哲朗・宇留 間 高広

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-191 推進工事発生土を利用した流動化処理土の現場内製造および打設（その2：品質管理、施工方法の評価）/奥村組 [正] 川嶋 英介・高島 哲朗・瀧本 和宏・加藤 将道
- VI-192 仮設時に立坑として利用する道路地下換気所の設計および施工（その1）/大林組 [正] 齋藤 隆・五十嵐 央・潮田 知史・稲積 一訓・井澤 昌佳
- VI-193 仮設時に立坑として利用する道路地下換気所の設計および施工（その2）/大林組 [正] 稲積 一訓・五十嵐 央・潮田 知史・齋藤 隆・山下 徹
- VI-194 鉄道高架橋に近接したケーソン函体の沈設について/JR東日本 東京工事事務所 [正] 鈴木 健一・横山 真也・廣井 利行
- VI-195 R C地下連続壁の本体利用の施工実績/東日本旅客鉄道(株) [正] 遊座 啓史・久島 敏晴・米井 智
- VI-196 一般構造物における修復可能な耐震ジョイントの開発 -構造概要-/大成建設株式会社 [正] 森田 泰司・小笠原 邦洋・加藤 久男・香川 智哉・中原 和彦
- VI-197 一般構造物における修復可能な耐震ジョイントの開発 -作業性確認実験-/大成建設株式会社 [正] 新宅 建夫・香川 智哉・中原 和彦・木村 忠一・森田 泰司
- 10:25～11:55 開削トンネル・地下構造物(2) / 座長:平野 隆
- VI-198 凍結工法を用いたシールドトンネル間の非開削切掘り施工について-その1:計画概要-/大成建設株式会社 東京支店 [正] 山田 紀之・小川 司・上野 修彦・大石 憲寛・村上 達也
- VI-199 凍結工法を用いたシールドトンネル間の非開削切掘り施工について-その2:計測結果-/大成建設株式会社 東京支店 [正] 尾関 孝人・門石 崇・吉田 裕介・田口 龍二・日高 直俊
- VI-200 矩形鋼鉄推進による道路トンネル地下接続工の施工/大成建設 [正] 田中 敦・後藤 広治・五十嵐 央・築取 優丞・室賀 大二郎
- VI-201 曲線バイブルーフを利用した道路トンネル地下切開きの施工/[正] 豊田 努・後藤 広治・五十嵐 央・築取 優丞・谷口 敦
- VI-202 推進管の継手実大曲げ実験の数値解析/長岡技術科学大学 [学] 大森 絵美・瀧瀬 真輝・Huyhn Ngoc Thi・杉本 光隆・中村 勝則
- VI-203 推進管挙動に関する現場計測結果の数値解析/長岡技術科学大学 [学] 岩田 諒介・東川 正和・Le Gia Lam・杉本 光隆・石塚 千司
- VI-204 ハーモニカ工法の止水技術の開発 -HLシールドの高水圧要素実験-/ [正] 伊賀崎 圭・高倉 克彦・関谷 誠之
- VI-205 ハーモニカ工法の止水技術の開発 -HLシールドの現場施工性実験-/ [正] 川北 潤・伊賀崎 圭・関谷 誠之
- 15:00～16:30 橋梁(1) / 座長:酒井 修平
- VI-206 鋼製ラーメン高架橋の横取り架設に伴う柱接合の精度向上/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 王 萍・NAKAMOTO YOSUKE
- VI-207 県道を跨ぐ河川堤防敷でのトラス橋架設/東鉄工業 [正] 片桐 亨・根本 晴透・菅野 秀樹・笠原 薫・佐々木 昭悟
- VI-208 (仮称)各務原大橋上部工工事における施工時荷重の検討/清水・前田特定建設工事共同企業体 [正] 高島 英一・長谷川 達也・三尾 寿治・服部 政昭・栃木 謙一
- VI-209 安全・環境に配慮した河川上におけるP C板の敷設/清水建設株式会社 [正] 中島 淳太・長谷川 達也・三尾 寿治・服部 政昭・高島 英一
- VI-210 北陸新幹線 西北代B1における桁架設について/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 半井 恵介
- VI-211 金ヶ瀬さくら大橋における柱頭部上床版コンクリートの施工/清水建設 [正] 松永 英哲・瀧澤 裕・北村 裕・土田 一輝
- VI-212 柱頭部ブラケット作業床と移動作業車下部作業台の兼用について/清水建設 [正] 出井 寛志・守屋 紀和・市川 英敏
- VI-213 L型構造防音壁の設計および施工について/J R東日本 [正] 網谷 岳夫・竹市 八重子・矢葺 隆・大部 慎二
- 16:45～18:15 橋梁(2) / 座長:瀬能 浩実
- VI-214 大口径深礎における振動抑制発破工法の効果/大成建設 [正] 田中 朝一・伊藤 正人・谷口 陽一・大谷 英夫
- VI-215 固結シルトを支持層とする鋼管回転杭の施工管理/中日本高速道路 [正] 石黒 公規・野口 彰宏・細野 俊英
- VI-216 東日本大震災によるつくばエクスプレス線高架橋の被害と復旧/東亜建設工業 [正] 山田 明宏・新海 守一・岩本 博・森野 達也・青木 一二三
- VI-217 線路近接における大口径鋼製リング圧入工法の施工/東日本旅客鉄道 [正] 滝沢 聡・谷野 良輔・唐沢 守
- VI-218 新幹線高架橋に近接した切土補強土壁へのe-コラム工法の適用事例/株式会社大林組 [正] 山本 忠久・山本 徳洋・坂入 悠斗・須藤 敏己・渡辺 郁夫
- VI-219 新型埋設ジョイントの開発について/ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 末光 功治・鈴木 裕二・東田 典雅・細矢 淳
- VI-220 ボルトと桁の固定方法の基礎的研究/JR東日本 東京工事事務所 [正] 青木 千里・山田 啓介・山田 正人
- VI-221 約3年間暴露した摺動面のすべり性能確認試験/日本鑄造 [正] 松本 征也・山崎 信宏・石山 昌幸・原田 孝志

平成24年度9月5日(水) VI-4会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-133)

- 8:40～10:10 検査技術・診断(1) / 座長:中村 一史
- VI-222 音源探査装置(音カメラ)によるフィンガージョイントの劣化診断に関する研究 その1 -フィンガージョイント試験体を用いた基礎実験-/熊谷組 技術研究所 [正] 大脇 雅直・築山 有二・川合田 実

- VI-223 音源探査装置(音カメラ)によるフィンガージョイントの劣化診断に関する研究 その2/中日本高速道路 [正] 築山 有二・川井田 実・大脇 雅直
- VI-224 ビーム型伸縮装置の点検手法に関する一試み/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 [正] 伊藤 文隆・大飼 達彦・中崎 邦夫
- VI-225 鋼床版断面面リブの調査対象選定方法に関する一考察/財団法人首都高速道路技術センター [正] 齋藤 豪
- VI-226 「Uドップラー」によるPC桁たわみ測定時の補正手法について/J R東海 [正] 西山 裕之・中西 巧・畑中 達彦・上半 文昭
- VI-227 電磁波レーダによるアスファルト表面遮水壁の亀裂深度調査手法に関する研究/東京電力 [正] 土居 賢彦・田中 正吾・城本 政一
- VI-228 非破壊検査による吊橋ハンガーロープの腐食状況調査(因島大橋・大島大橋)/本州四国連絡高速道路 [正] 貴志 友基・山根 彰・川上 明彦・明石 良男
- VI-229 溶融亜鉛めっき部材管理路の劣化度評価手法の検討/本州四国連絡高速道路 [正] 楠原 栄樹・祖父江 泰孝
- VI-230 羽田空港D滑走路プレキャスト床版間詰部でのひび割れ点検調査/株式会社計測リサーチコンサルタント [正] 渡邊 弘行・伊藤 幸広・宮本 則幸・米本 雅
- 10:25～11:55 検査技術・診断(2) / 座長:長山 智則
- VI-231 移動走行荷重を用いたモニタリングによる橋梁の損傷評価に関する基礎的研究/山口大学 工学部 社会建設工学科 [学] 友廣 郁也・渡邊 学歩・矢部 明人
- VI-232 路線バスを利用した中小橋梁モニタリングシステムの実証実験/(株) 構造計画研究所 [正] 矢部 明人・磯田 聡史・永田 雅大・宮本 文雄
- VI-233 多点振動計測による斜張橋ケーブルの状態監視/茨城大学大学院 [学] 松村 翔・原田 隆郎
- VI-234 ロープアクセスを利用した橋梁の点検について/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 [正] 原 創太・竹市 雅人・中村 茂樹
- VI-235 水管橋の調査・点検におけるロープアクセス技術の実施例/コケケン [正] 石塚 貴大・松井 義昌・大津 洋介・森里 賢一・櫻井 一人
- VI-236 光ファイバセンサを用いた道路橋RC床版の疲労損傷度評価に関する検討/日揮株式会社 [正] 門 万寿男・中野 聡・子田 康弘・岩城 一郎
- VI-237 高速道路の構造物の点検・診断業務の効率化に向けた検討/東日本高速道路 [正] 三石 晃・黒田 尚士・紫桃 孝一郎・石川 雄章
- VI-238 狭隙部点検用ロボットの開発/首都高技術 [正] 布施 光弘・高田 光・山崎 文敬
- 12:40～14:10 検査技術・診断(3) / 座長:小泉 圭吾
- VI-239 宇宙線ミュオン粒子を利用したマルチ計測器の改良と社会ニーズの開拓/川崎地質株式会社 [正] 鈴木 敬一・大沼 寛・奥村 忠彦・浅沼 博信
- VI-240 路面下探査車「ロードビジュアルライザー」の搭載機器と測定事例/応用地質 [正] 前川 聡・村上 弘行
- VI-241 スケルカ技術による地中情報の可視化事例について/ジオ・サーチ [正] 岡本 順平・森本 勝彦・渡邊 岳史
- VI-242 遠隔非接触振動計測による岩盤斜面の安定性評価法の研究/鉄道総合技術研究所 [正] 上半 文昭・齋藤 秀樹・馬 貴臣・深田 隆弘・太田 岳洋
- VI-243 地震を受けた土構造物に関する研究/JR東日本 [正] 成田 絃也
- VI-244 バックシパーモグラフィ法を利用した盛土の締固め管理/中央工学校土木測量学科 [正] 金光 寿一・柳内 睦人・川久保 政亮
- VI-245 火山灰質土を基礎材に用いた農業用パイプラインの診断について/土木研究所 寒地土木研究所 [正] 小野寺 康浩
- VI-246 洗掘被害を受けた橋脚の固有振動数と健全性について/西日本旅客鉄道 [正] 笠松 大輔・小寺 信行・坂本 寛幸・近藤 政弘
- 14:25～15:55 検査技術・診断(4) / 座長:飯島 亨
- VI-247 新しい類似性尺度を用いたコンクリート打撃音の異常判定装置/名古屋女子大学 [正] 神内 教博・橋本 和明・林 詳悟・福見 稔
- VI-248 赤外線熱画像と可視画像によるコンクリート診断技術の現場への適用/清水建設 [正] 久保 昌史・伊藤 健一・山本 康広・天野 勲・中山 聡子
- VI-249 河川コンクリート構造物の健全度評価/対策区分判定方法の検討/八千代エンジニアリング株式会社 [正] 鈴木 智行・渡辺 憲吾・松江 庸介・坂尾 祥文
- VI-250 ひずみ可視化シートを用いた曲げ載荷試験におけるひずみ測定/計測リサーチコンサルタント [正] 梅本 秀二・高木 健・大畑 秀之・藤井 堅・宮本 則之
- VI-251 電磁波を用いた全反射測定によるコンクリート中の塩化物含有量の検出技術/ドビー建設工業株式会社 [正] 立神 久雄・長谷川 剛・井上 浩男・川瀬 晃道・小倉 英弘
- VI-252 各種因子が電磁誘導法によるかぶり厚さ推定値に及ぼす影響/RECOエンジニアリング [正] 大沼 薫春・野中 英
- VI-253 再変状を生じたRCラーメン高架橋柱基部の劣化損傷について/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 秋山 啓太・原田 悟・松田 芳範
- VI-254 海岸護岸等の維持管理に関する研究/東日本旅客鉄道 [正] 篠田 和典・赤上 良博

平成24年度9月6日(木) VI-4会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-133)

- 8:40～10:10 検査技術・診断(5) / 座長:篠田 昌弘

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-255 台車前・後軸挙動の違いに着目した軌道状態監視／鉄道総合技術研究所 [正] 石田 誠・水野 真敏
- VI-256 軌箱上下加速度によるローカル線の軌道状態評価法の検討／鉄道総合技術研究所 [正] 坪川 洋友・水野 真敏・中 祐介
- VI-257 東海道本線における経年を有するIビームの健全度評価について／JR東海 静岡土木技術センター [正] 浅野 嘉文・青木 成生・小野田 政之
- VI-258 振動発電デバイスを用いた簡易な列車振動監視方法の基礎的検討／株式会社ジェイアール総研情報システム [正] 蒲地 秀矢・村本 勝巳・生田 雅代・岐島 裕・内田 大道
- VI-259 東北地方太平洋沖地震における土木構造物の健全度把握／JR東海 [正] 齋藤 拓也・中西 巧・山崎 秀介
- VI-260 流水距離によるコンクリート表層部の中性化速度係数評価／東日本旅客鉄道 [正] 内田 雅人・岸 利治
- VI-261 分岐器内レールの測定可能な可搬式摩耗検査装置の開発／西日本旅客鉄道 [正] 田中 雄大・田淵 剛・小林 紘貴
- VI-262 土丹が露出した河川内における鉄道の護床工沈下について／JR東日本 [正] 佐藤 大輔・今井 賢司・永井 映・木村 博憲

■10:25～11:55 検査技術・診断(6) / 座長:戸田 勝哉

- VI-263 赤外線熱計測によるトンネル覆工コンクリートの損傷検出1-高速走行計測／株式会社パスコ [正] 黒須 秀明・内間 満明・前田 近邦・新井 正典・塚田 芳則
- VI-264 赤外線熱計測によるトンネル覆工コンクリートの損傷検出2-詳細点検との比較検証／ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 清水 俊吾・新井 正典・塚田 芳則・内間 満明・黒須 秀明
- VI-265 レーザリモートセンシング装置を用いたコンクリート欠陥探傷- (1) シグナル/ノイズ比の向上-／西日本旅客鉄道 [正] 御崎 哲一・坂本 保彦・島田 義則・篠田 昌弘・江本 茂夫
- VI-266 レーザリモートセンシング装置を用いたコンクリート欠陥探傷- (2) 欠陥検出アルゴリズム -／鉄道総合技術研究所 [正] 江原 季映・篠田 昌弘・中島 進・島田 義則・御崎 哲一
- VI-267 レーザリモートセンシング装置を用いたコンクリート欠陥探傷- (3) 実欠陥探傷結果 -／[正] 島田 義則・コチャエフ オレグ・御崎 哲一・坂本 保彦・篠田 昌弘
- VI-268 水路トンネル上部の地表陥没対策／東日本旅客鉄道 [正] 竹内 洋介・山本 小野 清実・大野 桂寿・大森 満
- VI-269 3次元レーザースキャンを用いたトンネル内空間断面の変状管理計画／阪神高速技術株式会社 [正] 吉田 貴保・岡本 亮二・林 詔裕
- VI-270 トンネル覆工面撮影画像の歪み補正手法／鉄道総合技術研究所 [正] 鶴飼 哲一・御? 哲一・坂本 保彦

平成24年度9月7日(金) VI-4会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-133)

■8:40～10:10 測量・計測(1) / 座長:岩波 基

- VI-271 光ファイバセンシング技術を用いた高架橋PC桁の計測について／東鉄工業株式会社 [正] 瀬下 孝雄・西島 和男・鈴木 誠治・原田 祐
- VI-272 トンネル坑口斜面における3次元計測管理と応力変形解析／株式会社奥村組 [正] 森田 修二・西川 博敏・板谷 裕次
- VI-273 モバイルマッピングシステムを用いた道路構造物データ抽出手法に関する研究／日本大学 [学] 船戸 智也・佐田 達典
- VI-274 モバイルマッピングシステムの各種走行条件下における路面標高計測実験／日本大学 [学] 白井 美由貴・佐田 達典・池田 隆博
- VI-275 無線LAN測位技術の測位精度に関する研究／飛鳥建設技術研究所 [正] 松田 浩朗・松元 和伸・田頭 茂明
- VI-276 仮梁方式における上載荷重受け替え時の計測管理と載荷状態の把握／JR東日本 東京工事事務所 [正] 米井 智・櫻井 照信

■10:25～11:55 測量・計測(2)/自動化システム / 座長:藤野 健一

- VI-277 山岳トンネル用連続ベルコン監視システムの開発／大成建設株式会社 [正] 松本 三千緒・片山 三郎
- VI-278 防波堤ケーソン掘付における無人化施工／東洋建設 [正] 榎 正浩・草刈 成直・塩崎 和行・岡本 浩典・加藤 直幸
- VI-279 潜水土位置管理システムの開発／東洋建設 [正] 水谷 征治・加藤 直幸・草刈 成直
- VI-280 吸着自走式ウォータージェットはつりロボットシステムの開発／馬淵建設 [正] 村田 弘彦・高井 伸一郎・土井 敏正
- VI-281 SMW掘削データを用いた地下ダム基盤確認システムの開発／西松建設 [正] 平野 幸・佐藤 靖彦・仲松 宇大・羽山 里志・宮川 誠
- VI-282 場所打ち杭の孔内水位管理システムの開発／鉄建建設 [正] 岩瀬 隆・栗栖 基彰・和田 旭弘
- VI-283 視覚障害者歩行支援のための空間データ処理方法の構築／静岡県庁 [正] 水野 雄一・佐田 達典・小林 一樹

■15:00～16:30 GPS/GIS / 座長:黒台 昌弘

- VI-284 一周GPS転圧管理システムを想定した初期化時間短縮手法／東京理科大学 [学] 大澤 英里・佐伯 昌之
- VI-285 高速移動体におけるRTK測位精度の検証／日本大学 [学] 千葉 史隆・佐田 達典・石坂 哲宏
- VI-286 土壌汚染状況調査での調査地点設定システムに用いるGNSS測位の精度評価／茨城工業高等専門学校 [正] 岡本 修・三浦 光通・高橋 徹

- VI-288 搬送波位相の距離変化を用いた高精度測位における利用衛星の選択に関する研究／日本大学 [学] 池田 隆博・佐田 達典
- VI-289 実現場データを用いたマルチホップポジショニングの検証／東京理科大学 [学] 鈴木 拓也・今村 俊毅・佐伯 昌之
- VI-290 車載カメラを用いた施設管理方法について／八千代エンジニアリング株式会社 [正] 吉野 博之・藤澤 康雄・寺脇 学・森 京介・三森 一人
- VI-291 年・季節因子分析を目的とした衛星画像時系列分析モデル解の比較と実用化への提案／東京理科大学 地球環境工学研究室 [学] 鈴木 新・小島 尚人・鈴木 勇太

平成24年度9月5日(水) VI-5会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-143)

■8:40～10:10 地盤改良(1) / 座長:新川 直利

- VI-292 カルシア改質土の空気圧送実験／東洋建設 [正] 鶴ヶ崎 和博・前田 敏・西成高・高本 忠志・草刈 成直
- VI-293 管中混合方式で圧送されたカルシア改質土の材料特性／東洋建設 [正] 前田 敏・鶴ヶ崎 和博・西成高・高本 忠志・草刈 成直
- VI-294 カルシア改質土の全開バージ直投時における濁り発生抑制効果(その1:事前検討による環境影響評価)／東亜建設工業㈱ [正] 五十嵐 ひろ子・御手洗 義夫・永留 健・赤司 有三・山越 陽介
- VI-295 カルシア改質土の全開バージ直投時における濁り発生抑制効果(その2:実施工での品質管理試験結果)／東亜建設工業㈱ [正] 永留 健・御手洗 義夫・五十嵐 ひろ子・横尾 正義・川崎 勉
- VI-296 カルシア改質土の全開バージ直投時における濁り発生抑制効果(その3:水中投入時の濁り調査結果)／新日本製鐵株式会社 [正] 山越 陽介・赤司 有三・中川 雅夫・御手洗 義夫・永留 健
- VI-297 カルシア改質土の品質管理方法について／新日本製鐵 [正] 赤司 有三・飯室 賢一朗・藤井 郁男・山田 祐・津山 友一
- VI-298 「高速回転式カルシア改質工法」で改質された津波堆積土の路床材への適用／新日本製鐵 [正] 飯室 賢一朗・赤司 有三・中川 雅夫・横尾 正義・橋本 耕作

■10:25～11:55 地盤改良(2) / 座長:田中 耕一

- VI-299 陸上搭格載台船方式CDM工法(CDM-FLOAT工法)について／東亜建設工業 [正] 田口 博文・徳永 幸彦・齊藤 雅洋・時田 敏宏
- VI-300 AWARD-Demi工法の開発(その1:工法概要)／戸田建設㈱ [正] 諸川 誠・赤木 寛一・近藤 義正・佐久間 誠也・安井 利彰
- VI-301 AWARD-Demi工法の開発(その2:施工試験概要)／ハズマ [正] 三反畑 勇・赤木 寛一・上原 精治・安井 利彰・土屋 敦雄
- VI-302 AWARD-Demi工法の開発(その3:施工試験結果)／前田建設工業㈱ [正] 安井 利彰・赤木 寛一・近藤 義正・土屋 敦雄・浅野 均
- VI-303 地中拡張型の地盤攪拌改良工法の開発～ その1 拡張型改良装置の概要と性能試験 ～／大成建設 [正] 石井 裕泰・小林 真貴子・窪塚 大輔・青木 智幸・藤原 幸都
- VI-304 地中拡張型の地盤攪拌改良工法の開発～ その2 施工実験の概要 ～／日特建設 [正] 窪塚 大輔・石井 裕泰・小林 真貴子・菅 浩一・三上 登洋
- VI-305 地中拡張型の地盤攪拌改良工法の開発～ その3 固結改良体の発現強度 ～／大成建設 [正] 小林 真貴子・石井 裕泰・窪塚 大輔・松井 秀岳・立石 洋二

■12:40～14:10 地盤改良(3) / 座長:須網 功二

- VI-306 大気圧載荷工法における遮水壁へのDJM工法の適用／清水・竹中土木特定建設工事共同企業体 [正] 伊東 悟史・竹谷 喜代春・加藤 浩一・野崎 俊介
- VI-307 載荷盛土併用の大気圧載荷工法による逆T擁壁部の地盤改良効果について／清水建設 [正] 久保 正顕・竹谷 喜代春・加藤 浩一・野崎 俊介
- VI-308 大気圧載荷工法による地盤改良を採用した大規模調整池への東日本大震災の影響／清水・竹中土木特定建設工事共同企業体 [正] 野崎 俊介・竹谷 喜代春・加藤 浩一・波多野 正邦
- VI-309 ベトナムで実施したシート真空圧密工法の施工事例／五洋建設株式会社 [正] 河村 健輔・望月 武・新舎 博・常長 佑介
- VI-310 道路盛土直下への空気注入による液状化対策効果の実験的検討／西日本高速道路 [正] 富田 雄一・岡本 辰也・岡村 未対
- VI-311 地盤の不飽和化が地震時の過剰間隙水圧の発生と地盤の変形に及ぼす影響／愛媛大学大学院 理工学研究科 [学] 岡本 辰也・富田 雄一・岡村 未対
- VI-312 回転式破砕混合工法による高含水比粘性土を築堤土に改良する現地試験施工について／日本国土開発 [正] 中島 典昭・大川 智・大坪 研二・折敷 秀雄
- VI-313 セメント改良補強土橋台の盛土試験結果および施工報告について／戸田建設 [正] 小沼 宏嗣・佐藤 知之・若城 孝浩

■14:25～15:55 地盤改良(4) / 座長:山本 忠久

- VI-314 繰り返し三軸圧縮試験によるシリカバブル改良体の液状化強度特性／京都市大学 [学] 鈴木 健太・末政 直晃・永尾 浩一・佐々木 隆光
- VI-315 東北地方太平洋沖地震による液状化対策地盤の被災状況／五洋建設 [正] 秋本 哲平・林 健太郎
- VI-316 超多点注入工法による建築基礎の液状化対策／日本基礎技術株式会社 [正] 岡田 和成・藤原 辰成・戸田 武司・小幡 洋靖
- VI-317 曲線ボーリングを併用した静的圧入締結工法の開発(その2)／三信建設工業 [正] 新坂 孝志・渡邊 将美・岡見 強
- VI-318 自在ボーリングによる長距離・多段削孔で施工した既設構造物直下の液状化対策／大成建設 [正] オカヤ トシユキ・山田 隆博・石井 裕泰・鷺 圭一
- VI-319 液状化現象によるマンホール浮上抑制技術「ハットリング工法」／ライト工業株式会社 [正] 坂下 悟・飯田 陽朗・田中 哲郎

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-320 東北地方太平洋沖地震で発生した成田線の液状化被害について／東日本旅客鉄道
[正] 木下 潤一郎・鈴木 博人・植村 昌一・小林 亮司

平成24年度9月6日(木) VI-5会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-143)

■8:40～10:10 地盤改良(5) / 座長:田坂 幹雄

- VI-321 杭打ち作業に伴う振動が若材齢のセメント系固化処理土に与える影響分析／東亜建設工業株式会社 [正] 西田 浩太・御手洗 義夫・三枝 弘幸・高橋 英紀・小島 晃
- VI-322 ハイブリッド式中層地盤改良機の改良品質／矢作建設工業 [正] 中村 圭吾・真行 寺 康明・桐山 和也・市野 敏明
- VI-323 特殊シリカ系グラウトの目詰まり原因と浸透性向上方法／清水建設 [正] 杉山 博一
- VI-324 大規模開削工事における盤ぶくれ対策の一考察／清水建設 [正] 山田 竜太郎・加藤 卓・齊藤 恭央・古川 美典・安藤 陽
- VI-325 液状土固化体の製造と海域投入／五洋建設(株) [正] 田中 裕一・山田 耕一・佐々木 勝則・永守 学・赤司 有三
- VI-326 海水を使用した地盤注入工法の開発／日特建設株式会社 [正] 阿部 智彦・松本 伸・新村 亮・金沢 智彦
- VI-327 営業線に近接した狭隘箇所における地盤改良／J R 東日本 東京支社 取手工事区 [正] 狩野 周・成嶋 健一・笠原 大輔・陣川 博朗・岸 智久
- VI-328 発生パラストを用いた鉄道路盤改良工法の試験施工／鉄道総合技術研究所 [正] 中村 貴久・桃谷 尚嗣・伊藤 孝記・篠脇 諭

■10:25～11:55 技術開発 / 座長:武田 均

- VI-329 圧電素子と蓄光材料を用いた無電力の避難・安全装置の開発／大建産業 [正] 荒井 洋・須藤 敦史・河村 巧
- VI-330 積雪地域における太陽光発電モジュールの適用に関する研究／ケー・エフ・シー [正] 岩谷 一郎・上田 康成・羽馬 徹
- VI-331 副産物を高含有した低炭素コンクリートの施工性に関する一検討／戸田建設株式会社 [正] 川口 泰弘・田中 徹・佐藤 幸三・椎名 貴快・林 光芳
- VI-332 後付けの簡易装薬ホルダーを使用した鉄筋コンクリート躯体の動的破砕制御／熊本高等専門学校 [正] 中村 裕一・加藤 政利・竹内 博幸・中村 聡織・樋口 毅
- VI-333 パサルト繊維補強プレート帯板接着工法の開発と現場適用／戸田建設 [正] 田中 徹・岡野 法之・小島 芳之
- VI-334 吸水ポリマーを用いた透水性を有する裏込め注入材の開発／大林組 [正] 屋代 勉・田島 孝敏・新村 亮・山元 寛哲
- VI-335 小土被りの非開削工事における長尺先受け工法の開発一熱可塑性材料を用いた試験施工による施工性の確認一／大林組 [正] 三井 仁哉・足立 邦晴・山本 彰・牛田 貴士・木股 浩孝
- VI-336 小土被り非開削掘削工事における長尺先受け工法の開発一補強耐力の三次元解析検証一／大林組 [正] 粕谷 悠紀・山本 彰・福川 雄直・牛田 貴士・焼田 真司

平成24年度9月7日(金) VI-5会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-143)

■8:40～10:10 建設環境1(リサイクル・土壌浄化・水質浄化) / 座長:大脇 英司

- VI-337 回転網ろ過方式の濁水処理工法の現場実証実験一トンネル濁水への適用性一／前田建設工業 [正] 佐々木 卓也・山本 達生・福田 淳・岩田 将英・前田 敦
- VI-338 環境に優しい工事濁水処理システムの開発(その2)／西松建設 [正] 西田 秀紀・伊藤 忠彦・丸井 敦尚
- VI-339 石油分解菌の安全性評価／熊谷組技術研究所 [正] 門倉 伸行・佐々木 静郎・久保 幹・松宮 芳樹・土路生 修三
- VI-340 ヨモギを用いたファイトレメディエーションの基礎的研究一経時変化による吸収能と生育阻害について一／株式会社 熊谷組 [正] 伊藤 達也・横塚 享・土路生 修三・涌井 史郎・飯島 健太郎
- VI-341 北海道におけるリサイクル型法面緑化工法の適用性について／(独) 土木研究所寒地土木研究所 [正] 兵庫 利男・前田 俊一・佐藤 厚子
- VI-342 鉄道廃棄パラストを用いた防草対策における現場施工追跡調査／福岡大学大学院 [学] 森 康彦・佐藤 研一・藤川 拓朗・久柴 博・杉山 清海

■10:25～11:55 建設環境2(リサイクル・水質浄化) / 座長:石川 洋二

- VI-343 CO2削減を一元管理するスマートサイトシステムのダム現場への適用／清水建設株式会社 [正] 高畑 研・加瀬 俊久・鈴木 正憲・吉川 寛治
- VI-344 スマートサイトシステムの総合管理システムを最適化／清水建設 [正] 宇野 昌利・鈴木 正憲・河野 重行・金岡 幹
- VI-345 スマートサイトシステムのトンネル工事への適用／清水建設 [正] 藤井 攻・金岡 幹・河野 重行・鈴木 正憲
- VI-346 土砂分級システム「改良型ソイルセパレータ工法」の開発と液状土砂への適用結果／東亜建設工業 [正] 居場 博之・西田 浩太・池田 秀作・三宅 良二・國武 洋臣
- VI-347 大山ダムホタルピオトープのモニタリング結果(その2)／熊谷組 [正] 土路生 修三・門倉 伸行・岡本 弾・二俣 尊貞・鈴木 重人
- VI-348 クロツラヘラサギの保全に配慮した橋りょうの施工(九州新幹線水川橋りょう)／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 三浦 正直

■15:00～16:30 建設環境3(リサイクル・廃棄物) / 座長:門倉 伸行

- VI-349 石炭灰を用いた防潮堤の建設に関する検討(その1)一モデル施工結果一／大林組 [正] 光本 純・大内 広行・鈴木 博之・田島 孝敏・熊谷 祐一
- VI-350 石炭灰を用いた防潮堤の建設に関する検討(その2)／大林組 技術研究所 [正] 山田 祐樹・大内 広行・鈴木 博之・三浦 俊彦・熊谷 祐一

VI-351 石炭灰造粒物による津波堆積へドロの再資源化について(その1 材料・室内試験／エネルギー・エコ・マテリア [正] 樋野 和俊・宮國 幸介・齊藤 直

VI-352 石炭灰造粒物による津波堆積へドロの再資源化について(その2 臭気・細菌試験)／株式会社エネルギー・エコ・マテリア [正] 宮國 幸介・樋野 和俊・齊藤 直

VI-353 石炭灰造粒物による津波堆積へドロの再資源化について(その3 現地試験)／エネルギー・エコ・マテリア [正] 齊藤 直・日比野 忠史・山野 雅彦・樋野 和俊・宮國 幸介

VI-354 大粒径解体ガラを使用したコンクリート再利用技術に関する室内試験／清水建設株式会社 [正] 山田 雄太・江渡 正満・久保 昌史・高力 雅人・松本 純二

VI-355 大粒径解体ガラを使用したコンクリートの現場への適用／清水建設 [正] 田尾 一憲・高力 雅人・松本 純二・江渡 正満・山田 雄太

平成24年度9月5日(水) VI-6会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-142)

■8:40～10:10 施工技術(1) / 座長:坂本 淳

- VI-356 SEC コンクリートの橋梁床版への適用検討／リボンエンジニアリング [正] 伊藤 祐二・戸田 勝哉・中村 善彦
- VI-357 コンクリートの品質向上を目的としたひび割れ抑制対策の取組みと効果の確認／前田建設工業 [正] 笹倉 伸晃・大西 雅也・舟橋 政司
- VI-358 高強度・高流動コンクリートを適用した鉄道高架橋における温度ひび割れ抑制対策／大林組 技術研究所 [正] 川西 貴士・福井 賢一郎・小林 孝安・山口 武志・松下 修
- VI-359 横絡めP C 鋼棒の中間定着による供用中のP C 単純床版橋の分割撤去／大成建設 [正] 米澤 利之・木戸 浩幸
- VI-360 無線LANを用いた自動PC緊張管理システムの開発／川田建設(株) [正] 今井 平佳・鹿嶋 圭介・丸尾 陽平・細居 清剛
- VI-361 PC-LNG地上タンクにおける鉛直PC tendon 省略によるPC構造の合理化工法／東北電力 [正] 和田 宙司・堀見 慎吾・和田 智之・鈴木 克男
- VI-362 共同溝の耐震補強工事における機械化施工技術／(株) 奥村組 [正] 森本 克秀・重松 浩一・藪ノ 和洋
- VI-363 有楽町線小竹向原～千川間改良工事における長尺鉄筋の挿入工法について／東京地下鉄 [正] 長谷 篤・伊藤 聡・嶋田 司
- VI-364 護岸改修工事に用いた薄型樹脂含浸ボードの性能と施工について／大林組生産技術本部技術第一節 [正] 福井 真男・野上 啓泰・福留 朋之

■10:25～11:55 施工技術(2) / 座長:杉橋 直行

- VI-365 生分解性吸水高分子ゲルを用いた防波堤上部コンクリートの初期養生／東洋建設株式会社 [正] 加藤 満・竹中 寛・塩崎 和行・石貫 國郎・石田 博史
- VI-366 従来設備による中流動コンクリートの打設について／戸田建設本社土木工事技術部 [正] 齊藤 隆幸・野又 政宏・田中 徹・川口 泰弘
- VI-367 壁式橋脚における鉛直パイ啓明工法の適用／熊谷組 [正] 中出 剛・宮脇 悟・岡本 仁・庄司 啓明・佐藤 裕治
- VI-368 高所への長距離圧送によるコンクリート打設について／鴻池組 [正] 為石 昌宏・菅野 豊・荒川 淳二・寺西 克彦・森山 祐三
- VI-369 尿素を用いたコンクリートのトンネル二次覆工コンクリートへの適用／清水建設 [正] 野村 朋宏・石井 孝広・田中 博一
- VI-370 長期潤滑養生によるコンクリートの品質向上効果／大林組 [正] 上垣 義明・新村 亮・吉田 充
- VI-371 増粘剤系中流動コンクリートによるトンネル覆工の施工／大林組 [正] 宮本 賢浩・諏訪園 和彦・泉水 大輔・桜井 邦昭
- VI-372 ロータリー式吹付け工法の施工条件がPCMの付着強度に及ぼす影響／徳倉建設 [正] 宮口 博孝・三ツ井 達也・東山 浩士
- VI-373 鉄道高架橋におけるコンクリートの表層部の品質向上対策／株式会社 大林組 [正] 森川 秀人・小松 健次郎・柳迫 信雄・大谷 大造・川西 貴士

■12:40～14:10 施工技術(3) / 座長:河田 雅也

- VI-374 小口径で経済的な揚水工法の開発／JR東日本 東京工事事務所 [正] 高橋 保裕・桑原 清・小池 敏雄
- VI-375 沿岸低地部の下水道処理施設建設にともなう地下水位低下工法／アサヒテクノ [正] 尾崎 哲二・津野 孝弘・前川 宏一・神野 健二・平井 義秋
- VI-376 T R D掘削機を利用した変位緩衝溝による締固め砂杭施工時の周辺変位防止対策／大成建設株式会社 [正] 武田 聡・鶴野 雅明・齊藤 宏彰
- VI-377 東北地方太平洋沖地震で被災した鉄道切土斜面における復旧工事の設計と施工の概要／東鉄工業株式会社 [正] 西島 和男・中村 宏・武田 亮祐
- VI-378 対象地盤を岩盤とした連続壁掘削に関する実績と積算への課題／ [正] 山本 達也・吉川 康次・渡邊 公樹
- VI-379 鋼製チェーンと鋼製フレームによる補強土壁の設計手法と適用例について／東鉄工業株式会社 [正] 長谷川 祐二・滝沢 聡
- VI-380 鋼矢板斜め自立土留めの地震時挙動に関する遠心模型実験／大林組 [正] 照井 太一・嶋田 洋一・前田 知就・高橋 真一・杉江 茂彦
- VI-381 低空頭箇所における仮土留工の施工／JR東日本 [正] 中河 亮太・木戸 素子・井上 信夫・中村 征史

■14:25～15:55 施工技術(4) / 座長:横尾 敦

VI-382 長距離・急曲線を有する泥濃式推進工事における可燃性ガス対策／大本組 [正] 柿沼 政春・細川 和佳・牧井 繁幸・松元 文彦

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-383 袋詰脱水処理工法による津波堆積泥土の処理および有効利用施工技術／ピーエス三菱 [正] 杉本 昌由・佐伯 博之・村井 伸康
- VI-384 PC LNG貯槽における「アクセス開口」を用いた開口部段階的縮小工法／大成建設株式会社 [正] 藤田 智明・仁井田 将人・久保 有司・北郷 徳久
- VI-385 厳しい条件下における大土工事の効率化／大林組 [正] 久保 貴士・竹谷 喜代春・岩崎 哲也・岩崎 久幸・北村 広志
- VI-386 地下水位以下・狭小立坑におけるR&C工法の施工実績／鹿島・奥村・フジタ J V [正] 大内 健・小川 司・伊藤 健治・有馬 真司・工藤 耕一
- VI-387 上り勾配におけるR&C工法の施工について／九鉄工業 [正] 佐藤 俊治
- VI-388 東日本大震災の津波で被災した工場護岸の被害と復旧／ [正] 波多野 正邦・宮崎 武史・永嶋 基治・千馬 卓也・十文字 利道
- VI-389 地上式PC L N Gタンクの水張・耐圧試験に伴う基礎版沈下挙動／大成建設株式会社 [正] 尾野 祐規・山口 繁幸・水谷 正人

平成24年度9月6日(木) VI-6会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-142)

■8:40~10:10 施工技術(5) / 座長:野澤 伸一郎

- VI-390 廃棄物海面処分場の遮水工施工時の品質管理・評価手法に関する検討(その1:試験施工)／五洋建設 [正] 鶴岡 亮行・根田 亮一・渡部 要一・森 晴夫・沖 健
- VI-391 廃棄物海面処分場の遮水工施工時の品質管理・評価手法に関する検討(その2:施工管理データの分析)／東亜建設工業 [正] 浅沼 丈夫・溝上 健・渡部 要一・御手洗 義夫・田中 良典
- VI-392 孔内溝切装置の開発とアンカーボルトの引抜き試験／日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 [正] 寺戸 秀和・田中 光好・田中 大介・高橋 直樹・肥田 研一
- VI-393 矢板式岸壁のグラウンドアンカーによるリニューアル事例／大林組 [正] 濱地 克也・伊藤 広大・野上 啓泰・佐村 維要・三城 健一
- VI-394 名古屋両区構内における歩道橋の送り出し架設工事／東海旅客鉄道株式会社 [正] 末嶋 優子・青木 雄太・佐藤 寛之・鈴木 正
- VI-395 斜杖式栈橋の大スパン型枠支保工の実施事例／大林組 [正] 三城 健一・猪熊 一秀・北郷 徳久・濱地 克也・西村 貴志
- VI-396 地上式PC L N Gタンクの防液堤の施工／大成建設株式会社 [正] 春日井 沙千恵・中村 泰介・高崎 秀二
- VI-397 特殊型枠支保工を用いた汚泥消化タンクのコンクリート打設／清水建設株式会社 [正] 下間 英・名和川 啓二・小島 茂・延藤 遼

■10:25~11:55 港湾・海洋構造物 / 座長:武田 将英

- VI-398 重力式係船岸増深のための基礎構造に関する研究(その1) - 捨石マウンドの現地調査 - 東洋建設 [正] 合田 和哉・菊池 喜昭・平井 壮・小滝 勝美・藤田 健志
- VI-399 重力式係船岸増深のための基礎構造に関する研究(その2) - 係船岸増深の設計方法 - 日本理立浸透協会 [正] 加藤 繁幸・渡部 要一・水谷 崇亮・田中 良典・木村 光俊
- VI-400 重力式係船岸増深のための基礎構造に関する研究(その3) - 捨石改良体の強度試験 - 日本理立浸透協会 [正] 大久保 泰宏・森川 嘉之・竹内 純・高井 徹也・菅原 慎
- VI-401 可塑性モルタルを用いた捨石層への充填／大成建設 [正] 羽生 剛・楢垣 貴司・木岡 浩一・鈴木 俊輔
- VI-402 水中不分離モルタルによる基礎捨石マウンドの改良／西松建設 [正] 大喜多 亮・羽生 剛・木岡 浩一・鈴木 俊輔
- VI-403 ハイブリッドスパー構造による浮体式洋上風力発電施設の開発／戸田建設株式会社 [正] 佐藤 郁・牛上 敬・宇都宮 智昭・水上 大樹・高 清彦
- VI-404 グラウト接合の支持性能に関する研究(その1) / (株)熊谷組 [正] 吉田 健治・中村 滋・大越 靖広
- VI-405 グラウト接合の支持性能に関する研究(その2) / (株)熊谷組 [正] 中村 滋・大越 靖広・吉田 健治

平成24年度9月7日(金) VI-6会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-142)

■8:40~10:10 各種基礎 / 座長:堀越 研一

- VI-406 大口径場所打ち杭における杭頭部コンクリートの締固めに関する基礎試験／JR東日本 [正] 池本 宏文・鈴木 啓晋・柳 博文・山内 真也
- VI-407 大口径場所打ち杭における杭頭部コンクリートの締固めに関する大型試験／鉄建建設 [正] 山内 真也・柳 博文・鈴木 啓晋・池本 宏文
- VI-408 分割練りコンクリートを使用した場所打ち杭の杭体強度／飛島建設 [正] 植島 修・山岡 晃一・嵯峨 昭雄・寺澤 正人
- VI-409 グラウト注入型回転貫入工の施工性改良試験／ケー・エフ・シー [正] 奥野 稔・渡邊 直人・井上 武・加藤 健人
- VI-410 鋼製スリーブを用いた杭頭部結合構造を有するプレキャストL型擁壁の実大載荷実験／橋東興和 [正] 稲富 芳寿・福島 満・吉武 勇
- VI-411 しらす地盤における鋼管ソイルセメント杭の鉛直載荷試験および施工管理手法の一考察(その1:鉛直載荷試験および設計への適用)／JR九州 [正] 真井 哲生・清水 琢磨・安藤 貴彦・立川 裕司
- VI-412 しらす地盤における鋼管ソイルセメント杭の鉛直載荷試験および施工管理手法の一考察(その2:施工報告および施工管理手法の一考察)／JR九州 [正] 清水 琢磨・真井 哲生・安藤 貴彦・立川 裕司
- VI-413 機能追加型リフターによる鉄筋かごの建込み／東日本旅客鉄道 [正] 岡田 尚千・滝沢 聡・溝口 洋一・竹田 茂嗣
- VI-414 プレボーリング工法によるモルタルH鋼杭の設計手法の検討／JR東海 [正] 石原 匠・稲熊 弘・神田 政幸・西岡 英俊

■10:25~11:55 施工計画 / 座長:寺田 倫康

- VI-415 判別分析を適用したシールド設備計画標準化の試み／清水建設 [正] 中谷 武彦・西川 泰司・飯田 真啓・原 忠
- VI-416 丸ノ内線中野新橋駅改良工事における営業線直下の掘削について／東京地下鉄 [正] 藤沼 愛・下野 順也・首藤 彰芳
- VI-417 地下鉄東西線・日比谷線茅場町駅改良土木工事について／東京 [正] 西野 健・藤田 雄一・藤内 邦彦
- VI-418 緑が丘駅改良工事に伴う横取り工法を用いた鉄道軌道桁の架替へについて／東京急行電鉄株式会社 [正] 時苗 齊・関 高・蒲池 竜男・井上 貴文
- VI-419 特殊大型パネル工法による亀甲型消液槽の施工／鴻池組 [正] 内田 博之・安部 達也・為石 昌宏・大西 正毅・小山 起男
- VI-420 東日本大震災により損傷した沈でん水きよの復旧工事／清水建設株式会社 [正] 小池 竜・西村 哲夫・小出 太朗・中田 洋二・河野 州吾
- VI-421 軟弱地盤における海上部取水ロケーション躯体の沈下掘削に関する一考察 - 川崎火力発電所4号機取替増強に伴う取水設備新設工事 - 東日本 東京工事事務所 [正] 井上 剛治・小島 淳史・縄田 晃樹

■15:00~16:30 建設CALIS/情報化施工 / 座長:矢吹 信喜

- VI-422 GISを用いた大規模施設管理システムの開発について／奥村組 [正] 五十嵐 善一・久保 知洋
- VI-423 現場管理と監督検査の効率化を目的とした施工情報の情報資産化について - 3次元モデルと連動した構造物トレーサビリティ - /ハザマ 技術研究所 [正] 黒台 昌弘・澤 正樹・谷口 裕史・秋田 宏行
- VI-424 3次元配筋システム的设计・施工管理への適用について／株式会社エーバイシー [正] 本多 顕治郎・南側 晃一・西山 茂樹
- VI-425 設計段階における構造物の3次元モデリングに関する研究／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 田原 孝・金子 達哉
- VI-426 自動認識技術を用いた構造物管理支援ツール構築に向けた基礎研究／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 石間 計夫・田原 孝
- VI-427 ICTを活用した京極ダム盛立施工の合理化／北海道電力(株)京極水力発電所建設所 [正] 岩崎 具久・角谷 英一郎・当麻 誠司

平成24年度9月5日(水) VI-7会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-144)

■8:40~10:10 プロジェクトマネジメント/公共マネジメント / 座長:山下 幸弘

- VI-428 PM手法による種井川床上浸水対策特別緊急事業の実施例／株式会社ウエスコ [正] 高橋 邦治・田尻 英樹・織田 政彦・遠嶋 哉雄・植木 真生
- VI-429 CM業務の評価に関する検討 - リスクによる評価(その1) - /前田建設工業 [正] 鈴木 顕彰・諏訪 博己・岩田 誠・喜久里 政宏・山本 幸司
- VI-430 CM業務の評価に関する検討 - リスクによる評価(その2) - /株式会社 建設技術研究所 [正] 重松 英造・見波 潔・多田 寛・高木 正幸・遠藤 健司
- VI-431 国内外の社会基盤事業と環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の影響と展開の考察／北見工業大学工学部 [正] 桜井 宏・岡田 包蔵・佐伯 昇
- VI-432 公共事業VEにおける要求機能の抽出法／パシフィックコンサルタンツ [正] 青藤 浩治
- VI-433 時間軸を考慮した事業評価に関する一考察／パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 渡邊 武志・赤塚 芳弘・東條 文典
- VI-434 今後の地域運営の在り方についての一考察／高知工科大学 [正] 角崎 巧

■10:25~11:55 リスクマネジメント/知的情報処理 / 座長:後藤 忠博

- VI-435 広島県市町公共土木施設災害復旧支援者登録制度の取組について／広島県土木協会 [正] 川西 利治・甲斐 英樹・山家 通宏
- VI-436 山崎トンネル防災における効果的な啓発内容の提案／高速道路総合技術研究所 [正] 山崎 哲也・横田 昌弘
- VI-437 建設現場で働く高齢労働者の安全確保について／独立行政法人労働安全衛生総合研究所 [正] 高木 元也
- VI-438 漁港建設会社のBCPと東日本大震災における検証と課題／全日本漁港建設協会 [正] 長野 章・須田 輝夫・松谷 芳信・鈴木 光雄
- VI-439 舗装の震災リスク評価手法の検討／株式会社NIPPO [正] 井原 務・白井 悠
- VI-440 生体脈波の変化に着目した歩道橋横断時の不快感評価に関する検討／茨城大学工学部 [正] 原田 隆郎・亀井 啓太
- VI-441 多点計測された振動応答を用いた損傷検知システムの提案／茨城大学大学院 [学] 齊藤 雄輝・原田 隆郎

■12:40~14:10 建設マネジメント/組織・人材育成 / 座長:本間 淳史

- VI-442 建設事業における多様なマネジメントに関する研究(その2) / フジタ [正] 宇田川 義夫・坂口 拓史・乙藤 寛治・濱中 誠司・成島 誠一
- VI-443 防災事業による心理的効果の便宜推計／愛媛大学防災情報研究センター [正] 松本 美紀
- VI-444 海外の建設争議における「pay when paid」の考え方／前田建設工業 [F] 酒井 照夫・税所 陽一
- VI-445 我が国の建設マネジメントの課題に関する社会心理学的な考察／東京都市大学 [正] 皆川 勝・児玉 恭子
- VI-446 ニュー・ブリッジを活用した橋梁維持管理技術者の臨床的人材育成プログラム／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 田名瀬 寛之・中村 光・国枝 稔・薬山 有二

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-447 民間土木技術者の評価実態と大学教員・学生の認識に関する分析/名古屋工業大学大学院 [学] 松浦 一真・清水 千尋・鈴木 弘司・野口 好夫
- VI-448 技術公務員の評価・育成に関する調査分析/名古屋緑土木事務所 [正] 服部 幸也・野口 好夫・河野 修平・鈴木 昌哉・板津 央佳
- VI-449 海外で活躍できる地盤技術者を育成するために/基礎地盤コンサルタンツ [正] 藤堂 博明・野中 毅

■14:25~15:55 入札・契約 / 座長: 藤田 宗久

- VI-450 NEXCO 日本名古屋支社の調達におけるCO2削減の取組み/中日本高速道路 名古屋支社 [正] 片寄 学・尾林 利和・山田 耕一
- VI-451 ユニットプライス型積算方式の入札結果に対する影響結果分析/徳島大学大学院 [正] 森本 恵美・滑川 達
- VI-452 非対称情報下における価格設定 (調達) に関する一考察/日本建設情報総合センター [正] 鈴木 信行・村田 裕介・加藤 佳孝
- VI-453 NEXCO 日本日本の資材調達の取り組み/中日本高速道路株式会社 [正] 中川 和巳・土屋 俊幸・菊川 秀之・竹内 彰隆
- VI-454 地方建設者を対象とした入札意識に関する調査研究/徳島大学大学院 [学] 川村 竜功・滑川 達・森本 恵美・岩松 準・遠藤 和義
- VI-455 総合評価方式における技術評価方法の改善に関する考察/国土交通省国土技術政策総合研究所 [正] 森田 康夫・石原 康弘・久保 尚也・多田 寛
- VI-456 調査・設計等分野における総合評価方式の履行確実性評価対象業務拡大の効果について/国土交通省 国技術政策総合研究所 [正] 吉田 純土・森田 康夫・深澤 竜介・小宮 朋弓
- VI-457 広域自治体における総合評価方式による入札の実態調査/足利工業大学 [正] 藤島 博英・梁瀬 範彦

平成24年度9月6日 (木) VI-7会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-144)

■8:40~10:10 設計技術 / 座長: 緒方 明彦

- VI-458 東日本大震災後に整備する水門の設計手法について/パシフィックコンサルタンツ [正] 高野 和成・天野 紀・西村 学・芳賀 亮・藤倉 永大
- VI-459 クレーンを積載したハイブリッド重力式棧橋の模型振動実験/五洋建設株式会社 [正] 原 基久・池野 勝哉・吉田 誠・菅野 高弘・小濱 英司
- VI-460 国内外設計基準に基づく試設計の信頼性設計法による比較検討/関西電力 [正] 中田 正剛・大江 一也・平井 俊之
- VI-461 東北本線浦和駅周辺高架化事業に伴う既設高架橋出張出しスラブの補強設計および施工/JR東日本 東京工事事務所 [正] 久保 智彦・大郷 貴之・有光 武・川人 麻紀夫
- VI-462 実物大試験に基づく橋梁鉛直排水管の流量照査式の立案/開高道路総合技術研究所 [正] 若林 大・林 秀和・塩畑 英俊
- VI-463 統計的エネルギー解析法を用いたトンネル防音扉の発破音低減効果予測手法/中電技術コンサルタント [正] 石田 滋樹・森 厚夫・進士 正人・柿木 寛也
- VI-464 既設躯体の改良に伴う影響検討 (その1)/東京地下鉄 [正] 沼澤 憲二郎・平野 隆・橋口 弘明・清水 幸範・天野 裕基
- VI-465 既設躯体の改良に伴う影響検討 (その2)/東京地下鉄 [正] 平野 隆・沼澤 憲二郎・橋口 弘明・清水 幸範・天野 裕基

■10:25~11:55 工程管理/安全管理 / 座長: 宮田 和

- VI-466 粒足川橋りょう改築工事に伴う仮線盛土構築/JR東日本 [正] 原田 健
- VI-467 信越線新潟駅付近高架化に伴う上沼垂信号場切換工事について/JR東日本 [正] 石川 裕司・細木 勝栄・上石 佳広
- VI-468 避泊地を考慮した工事船舶運航支援システムの検討/大成建設 [正] 羽角 華奈子・伊藤 一教・織田 幸伸
- VI-469 営業線近接施工における場所打ち杭根巻き鋼管の施工/東鉄・鉄建 建設共同企業体 [正] 杉田 真彦・岸 智久・松尾 悟・成嶋 健一・笠原 大輔
- VI-470 路上工事作業帯への突入車両の衝突緩衝対策に関する一考察/NTTインフラネット株式会社 [正] 藤倉 規雄・小松 秀一・山口 裕三
- VI-471 崖・斜面からの墜落による労働災害事例の調査・分析/(独) 労働安全衛生総合研究所 [正] 伊藤 和也・大嶋 勝利・日野 泰道・高梨 成次・高橋 弘樹
- VI-472 泥炭掘削時における土砂崩壊災害事例について/(独) 労働安全衛生総合研究所 [正] 豊澤 康男・玉手 聡・伊藤 和也
- VI-473 東日本大震災の復旧作業における新規参入者による労働災害の分析/労働安全衛生総合研究所 [正] 堀 智仁・伊藤 和也・吉川 直孝

平成24年度9月7日 (金) VI-7会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部1号館 1-144)

■8:40~10:10 品質管理(1) / 座長: 村上 祐貴

- VI-474 傾胴ミキサーによるアジテート時間がコンクリートの凝結性状に与える影響/飛鳥建設 [正] 松元 和伸・松田 浩明・桃木 昌平・寺澤 正人・平間 昭信
- VI-475 高性能特殊増粘剤を用いたモルタルのフロー試験法に関する検討/熊谷組 [正] 田中 淳一・野中 英・高嶋 ノブヒロ
- VI-476 各種養生によるコンクリート表面の品質改善効果に関する実験的検討/熊谷組技術研究所 [正] 野中 英・八朝 秀晃・湯浅 昇・大沼 薫春
- VI-477 中性子水分計を用いた単位水量迅速測定技術の舗装コンクリートへの適用/五洋建設株式会社 [正] 澤田 巧・小笠原 哲也・内藤 英晴・酒井 貴洋
- VI-478 鉄道高架橋施工における高流動コンクリートの配合計画/東鉄工業 [正] 今井 和弘・陣川 博朗・岸 智久・狩野 周

- VI-479 アスファルト舗装の放射温度計による新たな施工管理手法について (室内試験)/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 竹内 弘幸・朝日 理登・阿部 徳男
- VI-480 表面アスファルト遮水壁の品質・施工管理/北海道電力 (株) 京極水力発電所建設所 [正] 和泉 康平・奥寺 健彦・若本 貴宏

■10:25~11:55 品質管理(2) / 座長: 田中 啓之

- VI-481 全方位撮影画像とGISを活用した設備管理の事例/エヌ・ティ・ティ・インフラ ネット株式会社 [正] 森光 雅之・福井 豊一・長谷川 光正・折居 信二
- VI-482 粗粒土の締固め管理方法に関する一考察/JR東日本 [正] 諏訪 嵩人・渡邊 明之
- VI-483 夜間短時間施工における埋戻し路盤材の選定と品質管理について/東鉄工業株 [正] 田中 元章・重松 彰人
- VI-484 仮置きした機械脱水処理土の特性/日建設計シビル [正] 片桐 雅明・吉田 秀樹・河野 正文・清山 貴俊・右田 宏文
- VI-485 弱溶剤塗装による新設鋼橋の塗装における環境負荷低減への取組/阪神高速道路株式会社 [正] 佐藤 美希・高田 佳彦・向井 梨紗
- VI-486 高圧噴射攪拌工法における改良径計測システムの開発/清水建設株式会社 [正] 西面 志保・伊勢 寿一・野津 武志・阿部 正直
- VI-487 直接掘み治具を用いた付着強度試験の検討/首都高速道路 [正] 鈴木 寛久・小野 秀一・渡邊 晋也

平成24年度9月5日 (水) VI-8会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部3号館 3-342)

■10:25~11:55 鉄道工事(1) / 座長: 露木 寿

- VI-561 身延線西富士宮・沼久保間16k000m付近斜面崩壊箇所の復旧について/JR東海 静岡土木技術センター [正] 山崎 梢・斎藤 伸明
- VI-562 台風15号に伴う身延線芝川・稲子間19k付近斜面崩壊箇所の復旧について/JR東海 静岡土木技術センター [正] 山田 裕一郎・久永 健一郎・影島 秀昭
- VI-563 井出・寄畑間30k560m付近上部斜面における災害復旧工事について/JR東海 静岡土木技術センター [正] 児島 達也・大山 智
- VI-564 飯田線門島・唐空間における斜面崩壊の復旧工事/東海旅客鉄道株式会社 [正] 西尾 栄二・下屋 徹
- VI-565 台風15号による盛土崩壊箇所の復旧工事について/JR東海 身延工務区 [正] 成清 公平・宮垣 圭吾
- VI-566 身延線市川本町・芦川間芦川橋りょうにおける橋台洗掘災害の復旧について/JR東海 静岡支社工務部施設課 [正] 武田 宣紘・安藤 頌欣
- VI-567 新潟・福島豪雨災害におけるJR飯山線羽根川橋りょう復旧工事/東日本旅客鉄道 [正] 谷野 良輔・滝沢 聡・谷口 善則・松本 慎二
- VI-568 平成23 年台風12 号により被災した紀勢本線井戸川橋りょうの災害復旧について/東海旅客鉄道株式会社 [正] 太田 将明・大隈 崇文

■12:40~14:10 鉄道工事(2) / 座長: 大木 基裕

- VI-569 東北地方太平洋沖地震における、東北新幹線高架橋の被災状況とその対策について/東日本旅客鉄道 [正] 伊藤 信・後藤 祐輝
- VI-570 東北地方太平洋沖地震における在来線の被災状況と復旧工事について/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 秋山 保行・菅原 寛文
- VI-571 鉄道橋斜角桁の地震時挙動と地盤特性の関係/東日本旅客鉄道 [正] 高山 充直・鈴木 博人・植村 昌一・最首 勝
- VI-572 JR鹿島線 鹿島神宮構内第1 宮中架道橋災害復旧工事/[正] 小笠原 幸司・宮西 正人・鈴木 博人・斎藤 吉和・最首 勝
- VI-573 長野県北部地震による飯山線被災状況及び応急復旧について/東日本旅客鉄道 [正] 古川 武英・皆川 一四・池田 泰博・渡辺 良平・安達 哲也
- VI-574 JR飯山線中条川橋りょう地震災害について/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 北村 栄治・黒岩 誠・松田 修一
- VI-575 東北新幹線における東日本大震災被災箇所復旧のための軌道測量と整備計画について/日本線路技術 [正] 葛西 亮平・戸矢 真琴・阿部 光俊
- VI-576 大震災の復旧整備のための効率的な変位量測定手法について/日本線路技術 [正] 水江 達也・戸矢 真琴・福島 成治
- VI-577 災害復旧工事における軌道整備方法の一考察/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 坂坂 信克・山中 貞男・菊地 清美・奥戸 出

■14:25~15:55 鉄道工事(3) / 座長: 辻井 大二

- VI-578 日暮里駅常磐線ホーム拡幅工事における改良計画と課題/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 森 厚憲
- VI-579 熊本駅付近連続立体交差化事業における配線変更/九州旅客鉄道 [正] 高山 智宏・真野 亮・古賀 誠
- VI-580 東西線南砂町駅2 面3 線化改良計画について/東京地下鉄 [正] 岡/谷 圭亮・柳 迫 久・山中 耕太郎
- VI-581 中央本線の溪流災害に対する防災への取組み/東海旅客鉄道株式会社 [正] 副田 有紀・小久保 将寿・白鳥 達郎
- VI-582 身延線における溪流災害の特徴の把握について/JR東海 静岡土木技術センター [正] 木村 太亮・松岡 亮介
- VI-583 盛土崩壊発生メカニズムと復旧計画について/JR東海 静岡土木技術センター [正] 市川 忠久・加藤 千典・佐藤 義真

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-584 地下鉄営業線の大規模改良(その1)ー地下鉄営業線躯体の大規模撤去工ー/株式会社大林組 [正] 石原 昌行・増見 雅臣・山浦 克仁・松井 雅紀
- VI-585 地下鉄営業線の大規模改良(その2)ーハーフプレキャスト中床版の性能検証試験ー/大林組 [正] 佐藤 清・坪内 雅嗣・西井 忠士・田中 浩一・岡 直彦
- VI-586 地下鉄営業線の大規模改良(その3)ー地下函体内での中床直上高架の施工ー/大林組 [正] 福井 孝夫・増見 雅臣・角谷 雄大・一本松 新・阿地 崇弘

平成24年度9月6日(木) VI-8会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部3号館 3-342)

■8:40~10:10 鉄道工事(4) / 座長: 奥村 陽一

- VI-587 新幹線新大阪駅構内上り本線の線路切替について/J R東海 [正] 山本 浩司・秋本 直人・西尾 健太郎・小松 新吾
- VI-588 身延線富士宮・西富士宮間立体交差化における線路切替工事について/J R東海 [正] 下田 智也・安東 嵩吾・上田 清弘
- VI-589 県道交差部P R C下路架設による線路切替工事について/東鉄工業株式会社 [正] 山元 平太・手塚 智之
- VI-590 東岸和田駅付近高架化仮上り線切替に伴う槽状桁の移設について/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 田淵 雄也・青木 智宏
- VI-591 新幹線既設営業線におけるシーサスクロッシング分割挿入/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 井口 重信・鈴木 僚
- VI-592 活線における直結軌道構造の急速施工/JR東日本 東京工事事務所 [正] 大部 慎二・宮田 真之・竹市 八重子
- VI-593 軌道スラブ工上における効果的なCAモルタル撤去試験/(株)日本線路技術 [正] 緒方 政照・葛西 亮平・村尾 和彦
- VI-594 インターバル式圧力注入法による省力化軌道修繕工法の試行/J R東日本 [正] 柿崎 慎介・嘉嶋 崇志・松本 和真・有馬 重治
- VI-595 盛土崩壊箇所復旧に伴う軌道工事の施工について/J R東海 静岡支社工務部施設課 [正] 杉岡 祐亮・小川 浩司

■10:25~11:55 鉄道工事(5) / 座長: 矢澤 英治

- VI-596 次世代型線路カート(新幹線用)の開発/仙建工業 [正] 小野寺 孝行・上部 誠
- VI-597 軌道バックホー高さ制限自動切換え装置の開発/JR東日本 [正] 米山 泰広・原田 彰久・加藤 章
- VI-598 軌道工事におけるバックホウの進化と安全性向上/シーエス建設 [F] 丹間 泰郎・國井 貴史
- VI-599 逸脱防止ガード敷設用PCまくらぎ穿孔台車の開発について/大鉄工業株式会社 [正] 坂本 士・福井 義弘・小野 雅之・山崎 清水
- VI-600 レール転倒防止装置用埋込検査設置機械の開発/東日本旅客鉄道 [正] 松本 剛明・堀 雄一郎・村上 祐治
- VI-601 レール溶接軌道車の開発/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 中島 洋平・原田 彰久

平成24年度9月5日(水) VI-9会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部3号館 3-341)

■8:40~10:10 軌道の維持・管理(1) / 座長: 村松 浩成

- VI-488 新しいレール削正バターンの提案について/JR東海 [正] 映村 隆人・三輪 昌弘・北原 和明・後藤 康夫・水野 貴詞
- VI-489 ミリング式レール削正車による最適なレール削正について/JR西日本施設部 [正] 筒井 俊幸・今西 進也・大崎 英二・佐藤 登志勝
- VI-490 60kgレール頭面形状の適正化に向けた断面測定と評価/鉄道総合技術研究所 [正] 小木曾 清高・飯田 忠史・藤森 啓之
- VI-491 光切断法を用いたレール断面測定手法の検討/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 下野 勇希
- VI-492 踏切内レールの腐食量と余寿命に関する研究/(公財)鉄道総合技術研究所 [正] 高須 豊・片岡 宏夫・細田 充
- VI-493 塩害腐食レールの損傷管理について/JR東日本 [正] 小代 文彦・三井 良裕
- VI-494 塗油器改良による塗油効果増大の取り組み/東京地下鉄株式会社 [正] 田代 祐徳・濱野 浩・田上 佳伸・石川 幸宏
- VI-495 山間線区における空転滑走に関する研究/JR東日本 [正] 菅原 衛

■10:25~11:55 軌道の維持・管理(2) / 座長: 紅露 一寛

- VI-496 軌道試験車によるレール伸縮に関する状態監視の検討/J R東海 [正] 長谷川 敏基・松尾 圭太郎
- VI-497 新たなロングレールの軸力管理方法の提案/JR西日本 [正] 田淵 剛・藤井 謙一・森 雅司・藤垣 博敏
- VI-498 地下鉄トンネル内におけるレール温度等の変動によるロングレールへの影響について/東京地下鉄 [正] 星子 遼・浅野 直人・豊巻 剛
- VI-499 トンネル内ロングレールの設定温度管理に関する検討/東海旅客鉄道 [正] 小岩 祐樹・柳川 智史
- VI-500 無道床橋りょうを含む地上部ロングレールの敷設に関する一考察/東京地下鉄 [正] 武藤 義彦・渡邊 真一・星 幸江
- VI-501 震災時のロングレール安全性の検証/東日本旅客鉄道(株) [正] 佐藤 隆行

- VI-502 急曲線ロングレール管理における一考察/JR西日本 [正] 松丸 和貴・山口 義信
- VI-503 TC型省力化軌道における急曲線ロングレール化に関する研究/(株)日本線路技術 [正] 島津 健・熊倉 孝雄・堀 雄一郎
- VI-504 許容ストロークを拡大した伸縮継目の開発/公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 高原 崇・及川 祐也・西田 博貴・吉野 哲也

■12:40~14:10 軌道の維持・管理(3) / 座長: 山根 寛史

- VI-505 レール折損時の応急処置器の開発/公益財団法人 鉄道総合技術研究所 [正] 西原 敬人・片岡 宏夫・西田 博貴
- VI-506 交換周期延伸可能な異形継目板の検討/東日本旅客鉄道(株) [正] 篠田 勝己・吉川 央容・細川 順二
- VI-507 レール継目板折損時の安全性評価/鉄道総合技術研究所 [正] 西田 博貴・片岡 宏夫・本野 貴志
- VI-508 接着絶縁レール用継目板の探傷方法の検証/JR西日本 [正] 庄野 真也・筒井 俊幸・永吉 正樹
- VI-509 波状摩耗抑制型レール締結装置の試験敷設/九州旅客鉄道株式会社 [正] 猿木 雄三・久柴 博・佐野 弘典・清水 惇
- VI-510 機械施工に対応したレール締結装置の構造検討/鉄道総合技術研究所 [正] 野中 政幸・弟子丸 将・本野 貴志
- VI-511 低ばね軌道パッドの緩衝性能の温度特性に関する検討/(公財)鉄道総合技術研究所 [正] 鈴木 実・弟子丸 将
- VI-512 無道床橋りょうにおける騒音低減対策とその効果について/JR九州 [正] 力武 基樹・久柴 博・堀池 高広

■14:25~15:55 軌道の維持・管理(4) / 座長: 曾田 祥信

- VI-513 頭部幅改良トングレールの導入/J R東海 [正] 原 幸一郎・渡邊 康人・清水 裕介
- VI-514 分岐器トングレール乗り移り部の損傷に関する一考察/JR東海 [正] 北田 悟・渡邊 康人
- VI-515 耐摩耗性能を向上したトングレールの試験敷設/鉄道総合技術研究所 [正] 及川 祐也・吉田 眞・佐藤 幸雄
- VI-516 分岐器不転換防止装置の検討/東海旅客鉄道株式会社 [正] 池田 貴久・島田 秀典・内田 隆一・中川 敬二
- VI-517 リード部鉄まくらぎ化について/日本貨物鉄道株式会社 [正] 伊藤 健介・青島 健・遠藤 康敬
- VI-518 新幹線用ノーズ可動クロッシングのき裂進展特性/鉄道総合技術研究所 [正] 細田 充・吉野 哲也・片岡 宏夫
- VI-519 突き合せ分岐器のロングレール化における分岐器間距離の影響/鉄道総合技術研究所 [正] 玉川 新悟・片岡 宏夫・西宮 裕騎・小谷 隼
- VI-520 分岐器区間における弾性化の検討/鉄道総合技術研究所 [正] 清水 紗希・及川 祐也・西宮 裕騎
- VI-521 クリープ特性を考慮した弾性まくらぎの評価/鉄道総合技術研究所 [正] 伊藤 老記・鈴木 実・村本 勝己・御船 直人

平成24年度9月6日(木) VI-9会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部3号館 3-341)

■8:40~10:10 軌道の維持・管理(5) / 座長: 早野 公敏

- VI-522 繊維補強ジオポリマー短まくらぎの製作/[正] 東原 実・上原 元樹・佐藤 隆巨・横川 勝則
- VI-523 高炉スラグ微粉末置換コンクリートを使用したPCまくらぎの耐久性/富士ビー・エス [正] 正木 守・久柴 博・上田 洋・西尾 壮平
- VI-524 継目用TPCまくらぎ(セミ支え継目用)試験敷設による一考察/九州旅客鉄道株式会社 [正] 中司 佳宏・津高 守・久柴 博
- VI-525 実物大軌道模型を用いたレール継目部の繰返し載荷試験/スミハツ [正] 櫻井 祐・村本 勝己
- VI-526 MTTを活用した継目落ち対策における一考察/東日本旅客鉄道(株) [正] 吉田 尚・篠田 勝己・桐生 雄太
- VI-527 東海道新幹線における碎石流れ対策の検討と実施/JR東海 [正] 浦川 文寛・山本 貴之
- VI-528 模型実験によるバラスト軌道の道床横抵抗力の検討/西日本旅客鉄道 [正] 楠田 将之・山口 義信・桃谷 尚嗣・伊藤 老記
- VI-529 発生道床バラストのリサイクル率向上とコスト低減/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 武田 一真・田原 興太・佐々木 陽
- VI-530 有孔管を用いた噴泥対策の一考察/J R九州 [正] 川崎 恭平・篠脇 諭

■10:25~11:55 軌道の維持・管理(6) / 座長: 及川 祐也

- VI-531 スラブ軌道における突起の変状予測について/西日本旅客鉄道 [正] 山根 寛史
- VI-532 軌道スラブ水平変位拘束装置の水平耐力に関する検討/鉄道総合技術研究所 [正] 瀨上 翔太・高橋 貴蔵・村本 勝己
- VI-533 塩化物イオンを含有する軌道スラブのひび割れ先行型鉄筋腐食に関する一考察/(公財)鉄道総合技術研究所 [正] 飯島 亨・高橋 貴蔵・上田 洋・山根 寛史

平成24年度土木学会全国大会 第67回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-534 相似粒度を用いたリサイクルバラストをモルタルで固結させる場合の強度特性／東洋大学 [学] 本山 時男・須長 誠
- VI-535 着脱式弾性まくらぎ直結軌道の技術開発／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 中村 龍次・荒木 廣・横山 拓広
- VI-536 脱線逸脱防止対策工事施工における一考察／名工建設 [正] 柳原 盛吾
- VI-537 逸脱防止ガードの継手構造の開発について／鉄道総合技術研究所 [正] 本野 貴志・西宮 裕騎・片岡 宏夫

平成24年度9月7日(金) VI-9会場 (名古屋大学東山キャンパス 工学部3号館 3-341)

■8:40～10:10 軌道の維持・管理(7) / 座長:吉田 昌史

- VI-538 簡易型軌道検測装置の開発／鉄道総合技術研究所 [正] 清水 惇・矢澤 英治
- VI-539 光センシング技術を利用した軌道変位計測について／名工建設 土木本部 [正] 衣斐 信行・金谷 義則・佐野 公彦
- VI-540 一般軌道測定におけるライトレックの基準線補正の検討／東海旅客鉄道株式会社 [正] 河合 満大・柳川 智史
- VI-541 営業列車による脱線係数の常時観測について／交通安全環境研究所 [正] 佐藤 安弘・栗原 純・水野 将明・谷本 益久
- VI-542 超音波を用いたレール故障検知技術の基礎試験／東日本旅客鉄道 [正] 元好 茂・小関 昌信・瀧川 光伸・青木 宣頼
- VI-543 導電性塗料を用いたノーズ可動クロッシングき裂検知手法の検討／公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 坂本 達朗・栢田 吉弘・細田 充・吉野 哲也
- VI-544 山陽新幹線における新型レール凹凸測定器導入について／西日本旅客鉄道 [正] 重永 三郎・金岡 裕之・田原 興太
- VI-545 ビデオカメラ画像を用いた道床形状測定の基礎試験／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 安藤 洋介・瀧川 光伸・近藤 英記・佐々木 隆徳・内田 勇治
- VI-546 災害復旧に伴う効率的な軌道材料調査測定装置の開発／(株)日本線路技術 [正] 小山 寿一・小松 久志

■10:25～11:55 軌道の維持・管理(8) / 座長:高原 正樹

- VI-547 新幹線のスラブ・バラスト境界における軌道変位の特性評価／JR東日本 [正] 瀬谷 誠・緒方 政照・原田 彰久
- VI-548 軌間データに基づく木まくらぎの締結状態評価法とPC化曲線選択支援システム／公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 水野 真敏・三和 雅史
- VI-549 軌道状態評価モデルの新幹線軌道への適用とシステム化／公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 吉田 尚史・木村 寛淳・三和 雅史・下野 勇希
- VI-550 軌道状態評価モデルにおける材料状態評価指標の閾値の設定法／鉄道総合技術研究所 [正] 木村 寛淳・三和 雅史・松丸 和貴
- VI-551 車上データを用いた道床管理手法構築に向けた一考察／JR西日本 [正] 小村 啓太・佐々木 陽
- VI-552 5m弦を用いた着大値管理手法の検討／西日本旅客鉄道 [正] 國田 洋平・佐々木 陽・小林 靖典・白水 健介
- VI-553 軌道試験車から算出する基準線を活用したMTT 整備手法の提案／JR東海 [正] 大野 修平・福中 力也・今泉 匡人

■15:00～16:30 軌道の維持・管理(9) / 座長:片岡 武

- VI-554 新幹線の乗り心地向上に向けた管理手法に関する研究／JR東日本 [正] 藤田 起也・長谷川 真吾・松谷 善昭・奥戸 出
- VI-555 周波数分析を活用した乗り心地レベル低減の取組み／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 築瀬 和清
- VI-556 高速分岐器の乗り心地改善／JR東日本 [正] 沖津 圭佑・坂本 洋介・小林 祥
- VI-557 クロソイド曲線を適用した分岐器の検討／西日本旅客鉄道 [正] 唐須 崇・金城 正嗣・吉田 敏幸
- VI-558 東日本大震災復興における新幹線動揺感知に関する考察／JR東日本 新幹線運行本部 [正] 佐竹 宣章・小茅生 賢一・丸山 淳也
- VI-559 横移動装置による槽状桁位置整正の施工について／東海旅客鉄道株式会社 [正] 喜多村 浩平・大畑 和弘
- VI-560 盛土崩壊箇所復旧に伴う線形改良の考え方について／JR東海 静岡支社工務部施設課 [正] 中瀬 大輔・久永 健一郎